

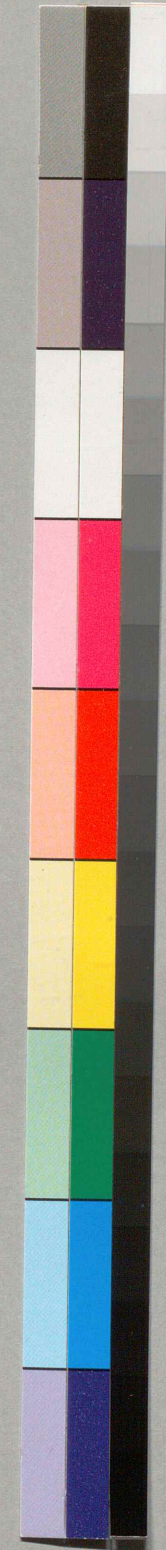
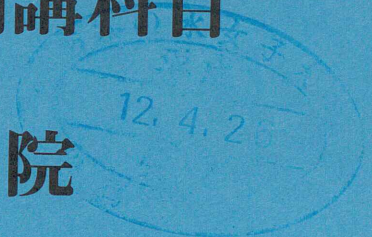
「学生便覧別冊」

平成12年度開講科目

大 学 院

〔人間文化研究科〕
〔博士前期課程〕

お茶の水女子大学



平成12年度 行事予定表

月 日 (曜)	事 項
平成12年	
4月10日 (月)	入 学 式
4月17日 (月)	前学期授業開始
4月17日 (月) ~ 20日 (木)	定期健康診断
7月24日 (月) ~ 31日 (月)	補 講 日・前学期末試験
9月18日 (月) ~ 22日 (金)	
8月1日 (火) ~ 9月15日 (金)	夏 期 休 業
9月23日 (土) ~ 30日 (土)	秋 期 休 業
10月2日 (月)	後学期授業開始
11月10日 (金)	徽音祭準備 (休講)
11月11日 (土) ・ 12日 (日)	徽 音 祭 (文化祭)
11月13日 (月)	徽音祭後片づけ (休講)
11月29日 (水)	創 立 記 念 日 (休講)
12月24日 (日) ~ 1月6日 (土)	冬 期 休 業
平成13年	
1月19日 (金) ・ 20日 (土)	大学入試センター試験のため臨時休業
2月1日 (木) ~ 14 (水)	補 講 日・後学期末試験
3月23日 (金)	卒 業 式・学位記授与式

目 次

言語文化専攻	1
人文学専攻	9
発達社会科学専攻 (発達人間科学系)	19
発達社会科学専攻 (生活・開発科学系)	29
ライフサイエンス専攻 (生活科学系)	35
ライフサイエンス専攻 (生命科学系)	41
物質科学専攻	49
数理・情報科学専攻	55
担当教官名簿	63
付 表 行事予定表	

◎各欄の表示について

・履修年次

ローマ数字 (I, II) は履修年次を表します。

・学 期

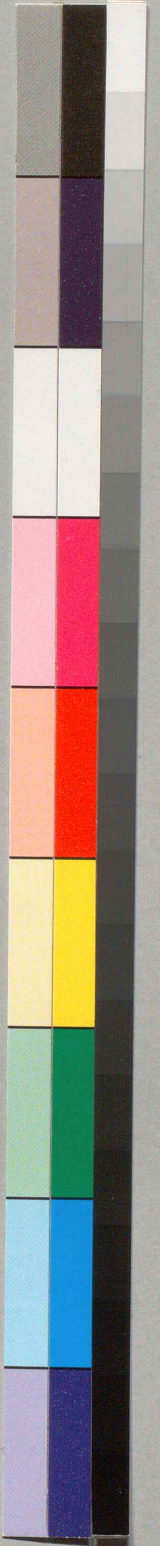
「前」「後」「通」はそれぞれ前期、後期または通年で開講されることを表します。

「集中」は、集中講義として開講されます。

平成12年度 前期課程専攻長及びコース代表者一覧

専攻	コース	専攻長 (副専攻長)	コース代表者
言語文化専攻	日本語文化学	海老根	市古
	アジア言語文化学		相原
	英語圏・欧州言語文化学(英語圏)		内田(正)
	英語圏・欧州言語文化学(仏語圏)		中村(弓)
人文学専攻	日本語教育	山本	長友
	思想文化学		佐藤(光)
	歴史文化学		安田
	服飾文化学		徳井
	舞踊・表現行動学		石黒
発達社会科学専攻 (発達人間科学系)	音楽表現学	(副)木	林
	教育学		耳塚
	心理学		石口
	発達臨床心理学		無藤
発達社会科学専攻 (生活・開発科学系)	応用社会学	館	平岡
	社会臨床論		箕浦
	生活政策学		戒能
ライフサイエンス専攻 (生活科学系)	地理環境学	(副)城	田宮
	開発・ジェンダー論		波平
	食品科学		久保田
	栄養科学		會川
ライフサイエンス専攻 (生命科学系)	人間生活工学	室伏	松浦(秀)
	環境生活工学		小林
物質科学専攻	生物人間科学	永野	千葉
	分子生物学		益田
	生命体科学		堀
数理・情報科学専攻	分子科学	河村	浜谷
	物理科学		河村
	情報科学		前田
	応用数理学		
	数学		

言語文化専攻



言語文化専攻

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
古代日本語学特論 (00H0001) 鈴木 泰	I・II 後 2単位	他言語との対照研究を行う。
日本上代文学特論 (00H0005) 荻原千鶴	I・II 通 4単位	日本上代文学作品、ことに『古事記』『風土記』などを扱い、上代文学の生成と展開、またその特質について論ずる。神話的なものとの関わり、記載散文学の叙述の方法などの問題について、多角的に考察する。
日本中古文学演習 (00H0008) 平野由紀子	I・II 通 4単位	中古私家集研究。和泉式部の和歌を対象とする。和泉式部集続集巻末の日次歌群を中心に注釈の方法、歌群形成の特色、同時代の歌人との交渉、和歌史における意義について各自の調査研究の発表によって進める。
日本中世文学特論 (00H0009) 浅見和彦	I・II 通 4単位	従来の日本文学史は京都を基点として論じられることが多かった。しかし、中世文学にはもう一つの核として東国の存在を欠かすことはできない。東国に基軸をすえて、中世文学を見ていくと、どうなるか、中世東国文学史という観点から考察を進めたい。
日本中世文学演習 (00H0010) 三木紀人	I・II 通 4単位	特定の土地、場所などの文学的意義・喚起力について検討する。
日本近世文学特論 (00H0011) 市古夏生	I・II 通 4単位	近世の怪異小説を対象として、注釈的研究を主として輪読する。
日本近代文学特論 (00H0013) 菅聡子	I・II 通 4単位	出版メディアと文学作品の関係について、とくにジェンダーの形成に注目しながら考察する。
日本現代文学演習 (00H0016) 大塚常樹	I・II 通 4単位	文学研究の理論に目配りしながら日本現代文学の諸作品を分析する。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
東アジア比較言語文化論 (00H0017) 和田英信	I・II 前 2単位	中国の詩学に関する諸問題。
東アジア比較言語文化論演習 (00H0018) 和田英信	I・II 通 4単位	錢鍾書『管錐編』『太平広記』を読む(前年度のつづき)。
現代中国語圏文学演習 (00H0020) 宮尾正樹	I・II 通 4単位	丁玲の作品、及び丁玲に関する論文を読みながら、さまざまなアプローチを試みる。 テキストは各自丁玲の作品集(版は問わない)を用意するものとするが、共通して読むものについてはコピーを配布する。
中国古典語学特論 (00H0021) 伊藤美重子	I・II 後 2単位	敦煌文献中の口語語彙や白話表現について考察する。
中国古典語学演習 (00H0022) 伊藤美重子	I・II 通 4単位	敦煌文書の中から『太公家教』とよばれる作品を読む。
現代中国文法学特論 (00H0023) 楊凱栄	I・II 通 4単位	日本人学生による中国語作文の誤用例の分析を通じて、現代中国語の語彙論、意味論、文法論、語用論など様々な分野にわたる問題を考える。
現代中国文法学演習 (00H0024) 相原茂	I・II 通 4単位	一つのテーマを決め、それに関わる論文を集中して読み検討する。テーマは現代中国語の文法に関するもの。論文についてははじめの授業で提示する。
現代仏文学特論 (00H0026) 中村俊直	I・II 通 4単位	現代フランス文学におけるギリシア神話の主題の受容と発展との様相を考察する。具体的には、ナルシス(ナルキッソス)のテーマをもとにして、小説家アンドレ・ジッドと詩人ポール・ヴァレリーの二人が著した作品を精密に読解し分析する。テキストはコピーを配布する。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
近代仏文学特別演習 (00H0027) 村田真弓	I・II 通 4単位	Fénelonの <i>Dialogues sur l'Éloquence</i> を出発点に、「神」をめぐる言説の多様な可能性について考える。 テキストはその都度、コピーを配布する。
現代仏文学特別演習 (00H0028) 中村弓子	I・II 通 4単位	本年はジョルジュ・プーレの『人間の時間の研究』の第四巻《Mesure de l'instant》に沿って、《瞬間》の問題を考察する。教材はコピーを教室で配布する。
仏語言語表現論 (00H0030) 石川宏	I・II 後 2単位	フローベル『感情教育』の主要部分の緻密な読みとこの作家の小説美学や言語観についての解説。 テキスト: L'Éducation Sentimentale (Folio) は共通講義棟3号館の仏語圏言語文化コース研究室で販売。
独文学特論 (00H0031) 菅野健	I・II 通 4単位	20世紀最大の作家の一人トーマス・マン(1875-1955)の『混乱と若い悩み』(郁文堂)を丁寧に読みながら、作品に描かれた時代の問題、当時の青年のさまざまな悩みのあり方についても考えていきます。文法的知識も常に再確認しつつ、読解力の向上をめざします。
近代独文学演習 (00H0032) 石丸昭二	I・II 通 4単位	オーストリアの現代作家ローベルト・ムージルのレーゼドラマを読み、解釈する。テキストはプリントを用意する。 Robert Musil: <i>Vinzenz und die Freundin bedeutender Männer. Posse in drei Akten.</i>
英語コミュニケーション特論 (00H0033) ダイアン・ナガトモ	I・II 前 2単位	In this class we will explore current theories of second language teaching and second language learning. Topics to be covered are society, culture and language, aspects of sociolinguistics, the social sciences and the second language curriculum, the study of education, and language teaching theories. Students are expected to read extensively in English and to make presentations in English. Text: H. H. Stern <i>Fundamental Concepts of Language Teaching</i> (Oxford University Press) テキストは英文研究室で購入。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
英語コミュニケーション演習 (00H0034) 西尾道子	I・II 通 4単位	外界の事象をどのように認識しそれを英語という言語で表現するかということは、日本人が英語を使用して効果的コミュニケーションを成立させようとする場合に検討されるべき重要な問題の一つである。本演習では最近の認知言語学の研究成果をふまえてこの問題を考察する。(備考)教科書はクラスで指示する。
英語学特論(語用論) (00H0035) 牛江ゆき子	I・II 通 4単位	英語の指示表現(照応表現や直示的な表現を含む)の使用と解釈について、認知的な視点とテキストの視点から考察をする。 教科書: Karen van Hoek <i>Anaphora and Conceptual Structure</i> (英文研究室で購入。他は授業開始後に指示する。)
英語学演習(統語論・意味論) (00H0036) 今西典子	I・II 通 4単位	生成文法理論では言語にみられる普遍性と多様性をより妥当に説明することをめざして、原理とパラメータのアプローチが提案されて以来、句構造、移動、照応等の現象に関して言語間変異をとらえるパラメータが種々提案されている。このような観点から英語を分析するとどのような言語であると説明されるかを考察する。
英語学特論(統語論・意味論) (00H0037) 宮川幸久	I・II 通 4単位	英語語法について研究する。ダイアン・ナガトモ助教の参加を得て、講義はすべて英語で行う。
英語圏言語文化特論 (00H0038) 清水徹郎	I・II 前 2単位	歴史劇を中心に、初期のシェイクスピアおよびピールやマーロウなどの劇作家の作品を取り上げて、1580年代~1590年代の演劇史的問題を考察する。受講者は、いくつかの作品を分担し、それぞれの抱える問題点について教室で口頭発表することになる。教科書の詳細は教室で指示する。
米文学演習(作品研究) (00H0039) 竹村和子	I・II 通 4単位	〈セクシュアリティの文学表象〉 セクシュアリティをテーマに分析した最近の論文(英米文学作品に関する)を読み、理論と作品研究の関連を論じる。

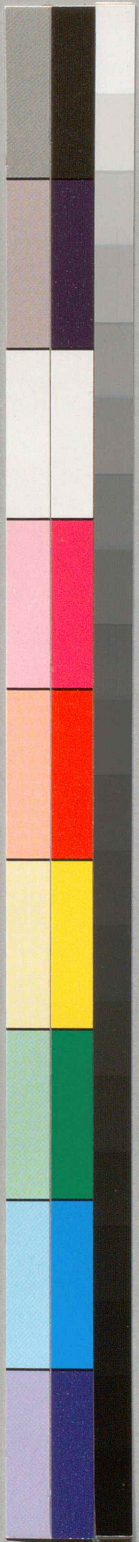
科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
英文学特論(作品研究) (00H0040) 松崎毅	I・II 通 4単位	Aphra Behnの詩と戯曲をテキストに、17世紀王政回復期における女性をめぐるさまざまな問題を考える。教科書・参考書は授業時に指示する。
英文学演習(作家・批評研究) (00H0041) 内田正子	I・II 通 4単位	19世紀終わりからの批評を方向づけたWalter Pater (1839-1894)の <i>The Renaissance</i> (1873)を精読する。彼に大きな影響を与えたMatthew Arnold (1822-1888)の評論(プリント)を合わせて読む。テキストは研究室で購入。 教科書: W. Pater: <i>The Renaissance</i> (California U.P.) : <i>Marius the Epicurean</i> (Penguin)
英文学特論(作家・批評研究) (00H0042) 富山太佳夫	I・II 通 4単位	
米文学特論(作家・批評研究) (00H0044) 海老根静江	I・II 通 4単位	William Faulkner 研究。一応 <i>The Sound and the Fury</i> を中心に読みつつ、適宜他の作品を扱い、批評史的観点も入れる。テキストは英文研究室で購入。 教科書: <i>The Sound and the Fury</i> (Vintage Books)
日本語学演習 (00H0046) 鈴木泰	I・II 通 4単位	随時、参加者の研究発表をとりまぜながら、日本語で、ボンダルコの『機能文法の理論 テンポラリティーとモダリティ』を読む。
日本語文化演習 (00H0047) 三木紀人	I・II 通 4単位	日本文化と言葉の有機的関連についていくつかの語を通して検討する。
日本語文化特論 (00H0048) 古瀬奈津子 小風秀雄	I 通 4単位	9世紀、遣唐使と共に中国へ渡った僧円仁の旅行記『入唐求法巡礼行記』を読み、異文化との出会い、衝突、受容の問題を考える(古瀬)。近代日本社会の特質を、文学・芸術・思想等の諸側面から明らかにする。自分の専門分野から報告し、討論したい(小風)。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
日本語教育学特論 (00H0050) 岡崎 眸	Ⅱ 通 4単位	日本語教育学の基礎理論に基づいて、(1)4技能教育、(2)日本語習得と母語保持、(3)年少者の日本語教育などの領域で、各自テーマを決め、先行研究をまとめ、研究課題を設定し、調査・実験計画を立てて実施し、結果を整理し論文にまとめる。この過程で相互に発表し評価し練り直す作業を行う。
日本語指導法演習 (00H0051) 長友和彦	Ⅱ 通 4単位	日本語指導法の理論を検討し、理論をシラバスデザインに応用する能力及び日本語能力の評価測定の技能を養うことを目的とし、各種日本語教育プログラムの調査研究、試験問題の作成、実施を通して、条件に応じた教育プログラムの作成を試みる。
言語分析学特論 (00H0052) 長友和彦	Ⅰ 前 2単位	文献講読を通して、これまでの言語分析学の対象・方法・内容を概観し、日本語教育に応用できる言語分析学のあり方を具体的に検討する。特に、日本語学習者の言語を対象とした研究を史的に概観し、言語習得研究とその応用に結びつく言語分析学の可能性を探る。
言語分析学演習 (00H0053) 長友和彦	Ⅰ 後 2単位	実際に使用されている言語の分析法を学習する。特に日本語学習者の言語を分析対象とし、その日本語の習得過程を音声・文法・談話・社会言語能力という観点から明らかにする方法を学ぶ。
日本語教育方法論演習 (00H0055) 岡崎 眸	Ⅰ 通 4単位	多言語・多文化時代の日本語教育を支える日本語教育学の基礎理論を学ぶことを目標として、(1)第二言語習得、日本語教育、母語保持教育、言語政策の各領域で発表されている内外の論文を批判的に読み、各論文について(2)研究の理論的な枠組み、得られた知見、残された課題、論文の評価などについてサマリーを作る。
日本語音声表現演習 (00H0058) 鮎澤孝子	Ⅰ・Ⅱ 前集 4単位	音声の生成・知覚に関する基本的知識、音声の音響的特徴の基本的知識を学び、日本語の音韻体系・音声的特徴を学んだうえで、その教授法について考察する。また学習者の母語の音声による日本語音声習得への干渉についても考察する。資料等は授業前に配布する。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
日本語音声教育方法論 (00H0059) 村松賢一	Ⅰ 通 4単位	音声学、音韻論の対照研究を踏まえ、外国人日本語学習者の母語別に音声教育の方法論を考究する。一方、第二言語習得論に学び、外国語音声の習得のプロセスを明らかにする。合わせて音声指導のカリキュラムを考える。
比較言語教育学特論 (00H0060) 佐々木 泰子	Ⅰ・Ⅱ 通 4単位	望ましい言語教育の方法論について考えるために、1950年代から現代にいたる言語教育法の史の変遷および第二言語の教室に関する文献の講読を行った後、各自が関心を持ったテーマについての調査・分析を行う。
日本語教育実習 (00H0062) 岡崎 眸	Ⅰ 通 2単位	多言語・多文化社会を担う日本語教師の養成を目指して、本学周辺地域に関わりを持つ外国籍住民を対象に、チームティーチングを基調とした、学習者や実習生仲間からの学びが実現できる教育実習を、受講生のリーダーシップの下に行う。具体的には、学習者の募集、コースデザイン、教壇実習、実習報告書の作成を行う。
対照言語学演習 (00H0066) 西原 鈴子	Ⅰ・Ⅱ 前集 4単位	対照言語学、特に対照語用論の研究領域の概要と、具体的な研究例を知ると共に、自分達の生活に身近な事例の観察を通じて研究の可能性を探る。 講義資料は当日配布する。 参考文献リストも当日配布する。
特別研究 (00H0067) (言語文化専攻教官)	Ⅰ・Ⅱ 通 8単位	アメリカ小説についての諸理論を学び、特に、アメリカ・モダニズムにおける言語表現の諸問題について考察する。

科目名 (科目番号)	単位数	履修条件	担当教員	科目概要
日本語学概論 (1001001)	1		佐藤 隆	日本語学とは何か、その歴史と現状、研究の動向について概論的に学ぶ。
比較言語学概論 (1001002)	1		佐藤 隆	比較言語学の方法と理論、言語の類型論について概論的に学ぶ。
日本語学概論 (1001003)	1		佐藤 隆	日本語学とは何か、その歴史と現状、研究の動向について概論的に学ぶ。
比較言語学概論 (1001004)	1		佐藤 隆	比較言語学の方法と理論、言語の類型論について概論的に学ぶ。
日本語学概論 (1001005)	1		佐藤 隆	日本語学とは何か、その歴史と現状、研究の動向について概論的に学ぶ。
比較言語学概論 (1001006)	1		佐藤 隆	比較言語学の方法と理論、言語の類型論について概論的に学ぶ。
日本語学概論 (1001007)	1		佐藤 隆	日本語学とは何か、その歴史と現状、研究の動向について概論的に学ぶ。
比較言語学概論 (1001008)	1		佐藤 隆	比較言語学の方法と理論、言語の類型論について概論的に学ぶ。
日本語学概論 (1001009)	1		佐藤 隆	日本語学とは何か、その歴史と現状、研究の動向について概論的に学ぶ。
比較言語学概論 (1001010)	1		佐藤 隆	比較言語学の方法と理論、言語の類型論について概論的に学ぶ。

人文学専攻



人文学専攻

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
哲学特論 (00I0001) 土屋賢二	I・II 前 2単位	基礎的な英文テキストを読む。それによって基礎的知識と論文の読み方を身につけてもらう。テキストは受講者の顔ぶれを見て決める。
哲学演習 (00I0002) 土屋賢二	I・II 通 4単位	参加者に発表してもらい、全員で議論する。羽入、三浦(謙)も出席する。
人文学基礎論 (00I0003) 土屋賢二	I・II 前 2単位	人文学がどういうものであるかを、具体的な研究を通して理解してもらう。履修に当たっては必ず指導教官に相談すること。
人文学基礎論演習 (00I0004) 土屋賢二	I・II 後 2単位	哲学の英文を読む。哲学の考え方と論文の読み方を学んでもらう。テキストは受講者の顔ぶれを見て決定する。
形而上学特論 (00I0005) 羽入佐和子	I・II 後 2単位	ヤスパース哲学を中心に、比較思想の観点から人間存在について考察する。
形而上学演習 (00I0006) 羽入佐和子	I・II 通 4単位	カントの認識論における形而上学批判を始め、形而上学のさまざまな問題に関する文献を講読する。
科学哲学特論 (00I0007) 三浦謙	I・II 後 2単位	科学哲学の観点から見た、現象と実在の関係や理論的存在・数学的対象の解釈について、哲学における存在論の問題とも関連させて論じる。
科学哲学演習 (00I0008) 三浦謙	I・II 通 4単位	科学哲学の個別的な問題について取り上げている論文(主として英文)を演習形式で読む。取り上げる内容は出席者と相談する。
倫理思想史特論 (00I0009) 高島元洋	I・II 通 4単位	荻生徂徠の『論語徴』をゼミ形式で読む。本書は、徂徠の『論語』の注釈書であるが、きわめてユニークなもので、『論語』の読み方にまだまだ様々な可能性のあることがわかる。レポーターの報告を受けて、議論する。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
倫理思想史特別演習 (00I0010) 頼住光子	I・II 通 4単位	道元の主著『正法眼蔵』の講読を行う。できる限り精密な註釈作業を行いつつ、本文の理路を丁寧にたどり、道元の世界観、真理観、修行観等を解明する。
倫理学特別演習 (00I0012) 高島元洋	I・II 通 4単位	近世日本における、国学・神道の意味を考える。本年は、本居宣長の「大祓」の注釈書を読む。毎回、レポーターに発表してもらい、それをもとに議論をする。テキストは、コピーを用いる。
社会文化特別演習 (00I0013) (思想文化学コース教官)	I・II 通 4単位	各自の研究を発表してもらい、それについて議論する。
アジア政治文化演習 (00I0015) 窪添慶文	I・II 通 4単位	中国古代に関わる1次史料を読む。どの史料を扱うかは受講者との相談の結果決定する。適宜、受講者の研究発表の機会を設ける。
アジア社会文化特論演習 (00I0017) 三浦徹	I・II 通 4単位	アラビア語史料(写本を含む)と欧文文献(英独仏)の輪読を通して、イスラム史の研究方法を磨く。
西洋史学方法論 (00I0018) 山本秀行 安成英樹	I・II 通 4単位	フランス語文献(論文・史料)の輪読を通して、アンシャン・レジーム期の社会について、さまざまな観点から検討しその特質を理解する。また参加者各々の研究報告を適宜織り交ぜる。なお、テキストは初回授業時に参加者と相談の上で決める。
西洋史学方法論演習 (00I0019) 山本秀行 安成英樹	I・II 通 4単位	「ナチズムと人種主義」を主要なテーマとし、関係する論文を講読するとともに、近代ヨーロッパの人種主義、ポストコロニアリズム論など社会史研究の最新の成果や方法について検討する。
日本社会史特論 (00I0020) 安田次郎	I・II 前 2単位	日本中世社会史の最新の成果をとりあげ、批判的検討を試みる。あらかじめテーマごとに報告者を定め、その報告をもとに出席者全員で討議を行う。司会は報告者が担当する。毎回少なくとも一回、全員に発言を求める。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
日本社会史演習 (00I0021) 安田次郎	I・II 通 4単位	『寺務方諸廻請』紙背文書を読む。これは、興福寺別当在任時に、大乗院尋尊のもとにきた書状類である。それらの文書の裏に『寺務方諸廻請』(『大乗院寺社雑事記』)は書かれたのである。きわめて難解な史料であるが、途中脱落しない意欲的な受講者を望む。
歴史史料論 (00I0022) 大口勇次郎	I・II 前 2単位	史料管理学の現状と課題について検討する。受講者は、国文学研究資料館において開催される史料管理学研修会に出席すること。
歴史史料論演習 (00I0023) 大口勇次郎	I・II 通 4単位	近世史、とくに幕藩権力論、都市史、家族史などを主題とした論文を読み、最近の研究動向を批判的に検討する。関連して田中家文書の史料論的検討を行う。
日本政治経済史特論 (00I0024) 古瀬奈津子	I・II 前 2単位	日本古代の政治システムの成立と展開について論じる。太政官制、令外官、合議制などの問題を取り上げ、同時代の中国(唐)のシステムと比較することによって、日本の特質を考察したい。
日本政治経済史演習 (00I0025) 古瀬奈津子	I・II 通 4単位	『令集解』を講読し、律令法・律令制についての基礎知識を修得する。篇目については、参加者と相談して決める。『小右記』(寛仁元年〈1017〉11月条から)を読み、律令制がいかに変質して平安貴族社会が成立したかを考察する。
日本文化史特論 (00I0026) 小風秀雅	I・II 後 2単位	日本近代社会の成立と形成のプロセスについて、社会的視点から多面的に明らかにする。出席者の発表を軸に進めていくので、積極的な参加を期待する。
日本文化史演習 (00I0027) 小風秀雅	I・II 通 4単位	近代日本の国際関係、とくにアジアとの関係について、現段階の研究水準をふまえ、在外史料を使用しながら、新たな視点を打ち出していきたい。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
西洋政治文化演習 (00I0029) 新井由紀夫	I・II 通 4単位	昨年に引き続き、15世紀イギリスの英語で書かれた手紙のマニュスクリプトをよみながら、そのなかにあらわれる政治社会的なネットワークについて考える。
西洋美術史特論 (00I0030) 天野知香	I・II 通 4単位	本年は主にフランスを中心とするモダン・アートを中心に考察する。社会における諸制度や観念の変質と、芸術の位相の変化、その新たな表現様式や表現手段の登場とともに再構築され、顕在化する芸術表現の意味や構造、さらにはそれを語る歴史叙述の視点を具体的な作品や出来事を通して考察する。
西洋美術史演習 (00I0031) 天野知香	I・II 通 4単位	西洋美術史研究の基本である原文講読を通じて、美術史における多様な方法論や作品分析の視点を学ぶ。基本的にフランス語文献を講読し、並行して各自の研究発表を行う。
東洋美術史特論 (00I0032) 秋山光文	I・II 通 4単位	最近の仏教美術史学研究成果に基づいて、古代インドから広く仏教文化圏に展開する造形美術を通じ、「仏教説話図像の成立プロセス」を考察する。特に南アジアを中心に我が国に及ぶ仏教文化圏諸地域について、地域性と歴史的背景から検証していく。現地で撮影したカラースライドや、必要に応じて他の視覚メディアを使用しながら理解しやすい講義を進めたい。
東洋美術史演習 (00I0033) 秋山光文	I・II 通 4単位	Vidya Dehejia, <i>Discourse in Early Buddhist Art, ---- Visual Narrative of India----</i> , 1997, Munshiram Manoharlal, New Delhi. を底本にしなが、インド古代仏教美術における説話図の特質について考察したい。 テキストはコピーで配布する。
歴史・地理特別演習 (00I0034) 内田忠賢	I・II 通 4単位	地域調査実習。9月下旬(予定)に5日程度の現地調査(文書調査・古老からの聞きとり)を行い、地域の歴史環境について研究する。参加者は予め連絡して頂きたい。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
日本服飾文化論演習 (00I0036) 小池三枝	I・II 前 2単位	日本人が培ってきた服飾の美意識を、実物資料・文学作品・絵画によって考察する。とくに近世と近代の作品を取りあげ、現代では理解されにくくなった部分に照明をあててみたい。
西洋服飾文化論演習 (00I0038) 徳井淑子	I・II 前 2単位	服飾の諸事象を通して時代の感性を明らかにするには、どのように資料を分析し、論を展開すべきか、その多様なあり方を、西洋服飾に関する近年の論文の講読を通して考える。
風俗文化論演習 (00I0040) 吉村佳子	I・II 前 2単位	古代の生活習慣や儀礼や行事などの資料の検討を通して、古代の生活文化について考えてみたい。
流行情報論特論演習 (00I0042) 板倉壽郎	I・II 前 2単位	流行と様式との関係を探る。M. Schapiro: Styleを資料として使用。
芸術文化特論 (00I0043) 西村清和	I・II 通 4単位	ひとはなぜ悲劇やホラーを見て楽しむことができるのか。小説を映画化するとき、なにが変わるのか。テレビゲームは、物語の主人公になって虚構世界を生きる経験か。講義では、物語をめぐるこうした問題を論じる。 参考書：西村清和『フィクションの美学』(勁草書房)、西村清和『電脳遊戯の少年少女たち』(講談社)
服飾文化特論演習 (00I0044) (服飾文化学コース教官)	I・II 通 2単位	服飾は人間の生活に常に密接に結びついており、従って生活観や生活意識の調査には服飾意識の分析を欠かすことはできない。服飾文化の諸事象を通して、いかに生活文化の諸相を解明できるか、その考察の方法を日本と西洋において歴史的に、また現代生活について情報化の側面で、それぞれ具体事例をもって検討する。

(新)科目は、平成12年度より科目名変更になっています。11年度以前入学者(2年生以上)は(旧)科目で単位取得になります。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
上演舞踊学特論 (00I0045) 渡辺 保	I・II 後 2単位	江戸時代の歌舞伎舞踊及び今日日本舞踊といわれる地唄舞、京舞、素踊りを分析する。これらの舞踊には西洋舞踊あるいは現代舞踊と違う「芸」の概念があり、その構造を通して、舞踊の構造を論述する。目標としては「芸」のわかる学生を育成したい。
(新)上演舞踊学実験演習 (00I0046) 石黒節子 (旧)上演舞踊学実験実習 (00I0064) 2単位	I・II 通 4単位	舞踊のテキストとしての動きの特徴を、映像資料や文献の講読を通して把握し、それを記述したり、振り付けの意図や背景とのかかわりを検討する。
舞踊芸術学特論 (00I0047) 片岡康子	I・II 前 2単位	20世紀の舞踊芸術を対象に舞踊芸術学研究の視点と方法について検討する。各自の研究テーマに即しながら関連文献の講読を通して舞踊芸術論への理解を深め、個別作品とそれらの関連性(時代表象)の課題として実践的な分析・考察を行う。
民族舞踊学特論 (00I0048) 本田郁子	I・II 後 2単位	日本及び世界の民族舞踊の中からいくつかの事例を取り上げ、舞踊の表現技法とその伝承法、音楽や演劇・造形表現との関連性、舞踊の成立に深くかかわる民族や地域に固有の身体技法・美意識・発想法・社会システムなどについて、舞踊の実演や映像・文献資料などを通して、それぞれの舞踊文化・舞踊現象の特徴を抽出する。それらの事例を比較検討しながら、民族舞踊研究の意識・視点・方法とを論じる。
(新)舞踊方法論実験演習 (00I0049) 片岡康子 本田郁子 (旧)舞踊方法論実験実習 (00I0065)	I・II 前 2単位	芸術舞踊および民族舞踊の実践や研究に必要な情報収集法、客観的記録法およびその分析法の検討を行う。机上での議論にとどまらず、舞踊が実演される現場でのフィールドワークや分析実験等をおこないながら、それぞれの手法の利点や限界をさぐり活用・応用の可能性について具体的に討議する。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
現代スポーツ論特論 (00I0050) 杉山 進	I・II 後 2単位	競技スポーツから生涯スポーツまで、現代スポーツは様々な分野と関りを持っている。オリンピック運動をはじめとして、政治、経済、教育、福祉についての諸問題について歴史・社会的な考察をする。教科書及び参考書は授業時に指示する。
現代スポーツ論演習 (00I0051) 新名謙二	I・II 後 2単位	スポーツマネジメントに関する英語文献の講読を行う。毎回担当者を決め、担当箇所の要約を発表し、受講者全員で質疑応答を行う形式で進める。テキストは開講時に指示する。
表現行動論特論 (00I0052) 稲垣正浩	I・II 後 2単位	スポーツ哲学、スポーツ社会学などのスポーツ文化学の分野からアップデートなテーマを取り上げ文献の輪読をする。併せてテーマに即した研究発表を行い、研究方法や論述の仕方について討議する。
表現行動科学特論 (00I0053) 大築立志	I・II 後 2単位	人間は、話す・歌う・書く・身振りなどの身体動作によって自己を表現し、環境や他者と交流しつつ生活し文化を創造する。本講義では、これらの動作や、スポーツ・舞踊・美術・工芸などの表現行動を、脳・神経系による意識的コントロールメカニズムの観点から解説する。
表現行動科学実験演習 (00I0054) 水村真由美	I・II 後 2単位	運動としての表現行動の特性を、自然科学的手法を用いて調査する意義について、先行研究抄読および簡単な実験実習を通じて、考察する。 (備考)解剖学および生理学の基礎的な知識を有する者の受講が望ましい
ピアノ演奏学特論 (00I0055) 遠藤秀一郎	I・II 通 4単位	西洋音楽の代表的楽器であるピアノについて、その多様な演奏表現を比較研究する。ゼミナール方式で行われ、その都度、時代的に異なった様式の作品を取り上げながら、奏法、音響、楽譜の解釈、楽曲構造の分析、音楽史的位置などを、実際のピアノ演奏によって検討する。また、独奏作品のみならず他の楽器とのアンサンブルもとりあげてピアノ演奏のもつ様々な側面を実践的に考察し、ピアノによる表現の可能性を追求する。

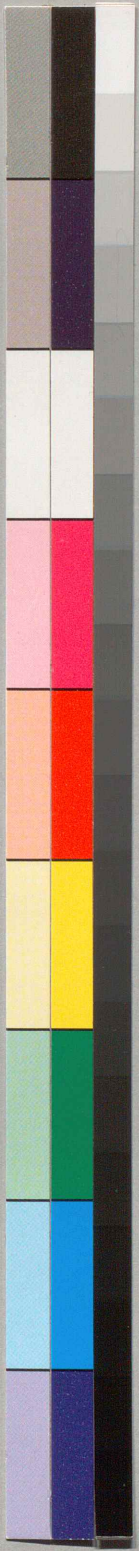
科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
ピアノ演奏学演習 (00I0056) 遠藤 秀一郎 井上 百合子	I・II 通 4単位	(遠藤) 古典から現代に至る各様式のピアノ作品を学ぶ。より一層の技術的・音楽的向上をめざそうとするものである。
ピアノ演奏学演習 (00I0056) 遠藤 秀一郎 井上 百合子	I・II 通 4単位	(井上) 楽曲研究に於ける芸術性の探究。演奏の為の奏法及び高い技術の修得。芸術作品の生成に於ける必然性の解析。演奏の社会的意義と影響。芸術追究の過程に於ける人間性の確認。
声楽演奏学特論 (00I0057) 林 廣子	I・II 通 4単位	イタリアのベルカントによるオペラアリアを中心とした声楽曲について、その演奏表現を発声法、舞台演技、作品背景、楽曲構造等から研究・実習する。また、ドイツ及びフランスなどで形成された独自の声楽曲などについても比較し、音楽様式と演奏との関連性を検討する。さらに、声楽における音楽表現的側面とともに、身体的側面をも考察することによって、西洋音楽における代表的な声楽演奏表現を総合的かつ実践的に研究する。
声楽演奏学演習 (00I0058) 林 廣子 長谷川 敏	I・II 通 4単位	(林) : ドイツリートの研究及び演奏法をテーマとするゼミナール。
声楽演奏学演習 (00I0058) 林 廣子 長谷川 敏	I・II 通 4単位	(長谷川) : ドイツ歌曲の実技を学ぶ授業である。個別指導のレッスンがなされるので各人それぞれ教材が選ばれる。主として古典派から後期ロマン派までを教材とする。 楽譜: Edition Peters, Bärenreiter. 畑中良輔「ドイツ歌曲集1」〔全音楽譜出版〕
民族音楽学演習 (00I0060) 徳丸 吉彦 薦田 治子	I・II 通 4単位	人間の音楽行動を中心に研究する学生・院生のためのゼミナール形式の授業。徳丸吉彦『民族音楽学理論』(東京:放送大学教育振興会、1996)にそって、人間と音楽の関わりの様々な局面を考える。文献の講読と発表を輪番で課す。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
音楽学特論 (00I0061) 徳丸 吉彦 永原 恵三	I・II 通 4単位	音楽学の研究と発表および論文作成のための文献操作と発表の技術、質疑応答の洗練をめざす総合的ゼミナール。徳丸『民族音楽学理論』(東京;放送大学教育振興会、1996)と徳丸『民族音楽学』(同、1991)の文献表を参考にする。
音楽学演習 (00I0062) 永原 恵三	I・II 通 4単位	音楽学の諸問題に関する研究と討論を行なう。毎回担当を決めて、国内外の近年の研究論文を1編取り上げて、発表と質疑応答によってすすめる。基本的に音楽学専攻の者を対象とするゼミナール。多様な音楽学の分野に対する理解と考察をめざす。
特別研究 (00I0063) (人文学専攻教官)	I・II 通 8単位	教官の指導の下に、各人のテーマに基づく修士論文の作成を目的とする研究を行う。

専攻科目	単位数	履修条件	講義科目	担当教員	科目番号
社会心理学	2		社会心理学の基礎	佐藤 隆	1001
社会心理学	2		社会心理学の発展	佐藤 隆	1002
社会心理学	2		社会心理学の応用	佐藤 隆	1003
社会心理学	2		社会心理学の歴史	佐藤 隆	1004
社会心理学	2		社会心理学の理論	佐藤 隆	1005
社会心理学	2		社会心理学の実験	佐藤 隆	1006
社会心理学	2		社会心理学の臨床	佐藤 隆	1007
社会心理学	2		社会心理学の文化	佐藤 隆	1008
社会心理学	2		社会心理学の未来	佐藤 隆	1009
社会心理学	2		社会心理学の国際	佐藤 隆	1010

発達社会科学専攻

(発達人間科学系)



発達社会科学専攻（発達人間科学系）

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
比較教育文化史演習 (00J0004) 米田俊彦	I・II 通 4単位	参加者の研究関心をふまえた形でいくつかのテーマを立て、各テーマにかかわる基本的な、あるいは最新の文献を読み進める。テーマに応じた史実の把握の仕方や研究方法の修得を目指す。
教育社会学特論 (00J0005) 耳塚寛明	I・II 通 4単位	教育社会学最新文献講読演習。最近5年以内に学術誌に掲載された論文を、各自の専攻テーマに沿って選定し、当該論文のクリティカル・レビューを行なう。 評価・出席、報告、議論への参加、レポート
教育行財政学特論 (00J0007) 勝野正章	I・II 後 2単位	教員の評価と給与に関するアメリカ教育行政研究者の著作を輪読し、教育改革全体のなかでの教員給与制度改革の意味について検討する。 教科書：A.Odden & C. Kelly (1996) <i>Paying Teachers for What They Know and Do</i> , California Corwin Press.
教育方法学演習 (00J0010) 宮原修	I・II 通 4単位	学校教育を中心に、人間が人間を教えるとはどういうことか、そこにはどのような教育方法=技術が求められるのかを実際に学校現場を訪問して学校・授業観察などを行なうことにより、また子供の発達や教師の技術などについての文献講読などを通じて考察することで授業（教授・学習過程）を実際、多面的に研究し、学校教育のあり方について考察する。
生涯学習論特論 (00J0011) 三輪建二	I・II 通 4単位	生涯学習の実践と理論をめぐる論争点に焦点をあて、見解の異なる論文の比較検討をおこなう。 参考文献 クラントン『おとなの学びを拓く』鳳書房 マイセル他『市民講座をつくる』鳳書房
博物館学特論 (00J0013) 鷹野光行	I・II 通 4単位	昨年に引き続き、博物館の教育活動の実態を、博物館の館報・年報等によって調べていく。中部地方から近畿地方の博物館についてみていく予定。
認知システム論演習 (00J0016) 石口彰	I・II 後 2単位	認知心理学に関する最近の研究（主として、視覚パターン認知、聴覚パターン認知、言語生成、ニューラルネットワークモデル等）を批判的に review する。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
発達情報管理論演習 (00J0018) 石口 彰	I・II 通 4単位	発達情報システムと認知科学の基礎。 テキスト：An Invitation to Cognitive Science. Vol. 1~4 (MIT Press)
心理社会行動論演習 (00J0020) 坂元 章	I・II 通 4単位	心理社会行動に関する最近の英語文献を講読し、この研究領域の現在の動向を知る。扱う文献は、候補として、Advances in Experimental Social Psychology の最近の巻を考えているが、最終的に受講者の希望を重視して決めたい。
人格形成論演習 (00J0022) 内藤 俊史	I・II 通 4単位	Cross-cultural counseling に関する文献を講読することにより、異文化接触におけるさまざまな問題を理解する。
心理発達論 (00J0023) 内田 伸子	I・II 通 4単位	教科書の中の文献のうち代表的な文献を講読し、討論することを通して認知発達や言語発達をめぐる生得論、学習論各々の立場からの最新の研究動向を理解し、各自の研究視点を確立し、この領域における研究方法論を修得することをめざす。教科書；Damon, W. (Ed.) <i>Handbook of Child Psychology</i> . Vol. I~IV, 1997, Wiley.
認知発達学特論 (00J0025) 無藤 隆	I 通 4単位	人間関係の生涯発達心理学の文献を検討する。特に、次の文献から親子関係、保育、臨床などの章を読みたい。 <i>Handbook of Child Psychology</i> , 4 vols. 全員が一回はレポートするとともに、最終レポートについては、自らのテーマのレビュー論文をまとめる。
認知発達学特論演習 (00J0026) 無藤 隆	II 通 4単位	人間関係の生涯発達心理学の研究計画を検討する。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
人間関係学特論 (00J0027) 黒田 淑子	I 通 4単位	人間関係に関する内外の学術誌を講読し、人間関係研究の動向を把握し、人間関係の諸理論や実践研究の方法について学ぶ。また家庭・学校・地域社会に広がる生活場面での様々な臨床課題を、関係的、動的に明らかにするとともに、三者面談、グループワーク、アクションメソッド、心理劇他を通して、人間関係の臨床、集団精神療法、日常生活に開かれたカウンセリングのあり方を探求する。
人間関係学特論演習 (00J0028) 黒田 淑子	II 通 4単位	人間関係の先行研究や家庭・学校・地域社会にひろがる生活場面でのさまざまな問題をもとに、参加者それぞれが人間関係に関する個別課題を設定し、相互に協力しながら、質問紙法、観察法、参加観察法、面接法、実験法、心理劇法などを活用した実践研究を行う。
カウンセリング特論 (00J0029) 青木 紀久代	I 通 4単位	前期は、カウンセリング・心理療法を行ううえで重要な学派の理論とその技法について概説する。さらに、人格形成について体系的理論を持つ精神分析理論を取り上げ、病態水準に応じた心理療法の適用を学ぶ。後期は、モデルとなる事例研究を多く紹介し、異なる学派から、同一事例がどう理解されるかを論じる。
カウンセリング特論演習 (00J0030) 楡木 満生	II 通 4単位	カウンセリング・心理療法の対応をさまざまな事例を通して学ぶ。特に発達臨床心理学の立場を明確にし、事例を生涯発達の関点から解説する方法を学び、人間の発達段階と臨床事例との関連について理解する。 教科書 福原真知子監修 FACE TO FACE (ワークブック) 丸善、福原真知子、楡木満生他訳 マイクロカウンセリング 川島書店
カウンセリング特論演習 (00J0031) 青木 紀久代	II 通 4単位	発達臨床心理学に関するテーマで学術論文を執筆するための指導を行う。各自が授業の最初に提出した研究計画について、個別に検討する。さらに計画書に沿って、研究の実施、データの分析、論文作成を一通り行うことを目的とする。

(新)科目は、平成12年度新設科目です。11年以前の入学者(2年生以上)は、聴講は可ですが、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
保育臨床学特論 (00J0032) 田代和美	I 通 4単位	保育を臨床的な視点からとらえ直し、環境や人間関係が子どもの発達にどのような影響を及ぼすかに検討を加える。主として文献をレポーター制で読み、ディスカッションを加える。
保育臨床学特論演習 (00J0033) 田代和美	II 通 4単位	保育を臨床的な視点からとらえ直し、環境や人間関係が子どもの発達にどのような影響を及ぼすかに検討を加える。文献のみでなく、保育現場等でのフィールドワークを行う。
生涯臨床学特論演習 (00J0035) 伊藤美奈子	II 通 4単位	おもに学校現場での心理臨床実践に関して、広く文献研究を行い、実践に根付いた研究とはどのようなものなのかについて検討する。また、修士論文の作成に向けて、グループによる小研究を行い、さまざまな研究方法を学ぶ。
生涯臨床学特論演習 (00J0036) 伊藤亜矢子	II 通 4単位	修士論文作成にむけた論文演習を行う。
(新)臨床心理学特論 (00J0037) 伊藤美奈子	I 通 4単位	臨床心理学に関する諸理論について、講義解説するとともに、様々な理論に基づく技法について整理する。また、実際に事例を担当するにあたって、事例研究論文などをもとに、心理療法の進め方や流れの読み方などについて学ぶ。さらに、病院や学校など、臨床場面による実践の違いや特徴についても解説する。
(新)発達臨床心理学研究法特論 (00J0038) 無藤隆	I 前 2単位	発達臨床心理学の研究のための方法の基礎について学ぶ。特に、質問紙法、観察法、面接法、事例研究などを中心として、そのデータの収集や処理の質的及び量的な方法を検討する。実際の研究例に則して分析するので、参加者は自分の研究の計画や結果を報告し、無藤が助言解説する形で進める。なお、学部レベルの入門的な知識を前提とするので、その勉強をしていないものは、学部の対応する授業を履修しておくこと。 また、後期(秋期)も引き続き行う予定である。

(新)科目は、平成12年度新設科目です。11年以前の入学者(2年生以上)は、聴講は可ですが、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
(新)学校臨床心理学特論 (00J0039) 伊藤亜矢子	I 通 4単位	前半では、学校コミュニティへの視点や、危機介入・予防成長促進、日本におけるスクールカウンセリングの特徴、教師コンサルテーションなど、学校臨床の基本となる事柄について基本的な知識を学ぶ。また、教師-生徒関係や学級風土などを主題とした学校臨床分野での研究例についても具体的に取り上げ、参加者にレポートしてもらおう予定である。後半は、学校臨床実践の実際を理解してもらうため、主に学校現場を舞台としたスクールカウンセラーによる事例を取り上げたい。学校内の相談室で行われた生徒への個人面接事例だけでなく、学級への介入や、教師コンサルテーションの事例など多様な事例を取り上げ、参加者全員で検討することを行いたい。
(新)家族臨床心理学特論 (00J0040) 楡木満生	I 通 4単位	この授業では、個人療法と家族療法の違いを考え、現在多くの家族療法が用いている家族システム論について理解する。人は家族の中で育ち、家族内の相互交流を通して、多くの知識を吸収して大人になっていく。だから、個人的に起こってくる諸問題の中には、家族というコンテキストからとらえると理解しやすい場合が多い。この授業では、家族初回面接の方法、ジェノグラムの取り方、家族ライフサイクル、ジョイニング、家族介入法などを理解し、実際に利用できるような実習を行う。
(新)臨床心理査定演習 (00J0041) 高良聖 藤田宗和	I 通 4単位	前半は、臨床心理学における心理アセスメントについて、その基礎と応用について概説する。後半は、参加者から事例の提出を募り、知能検査、投映法(ロールシャッハテスト及びTAT)の結果と所見を検討する。夏休み中に、それぞれの検査法を体験学習する機会を設けるので、未経験者は、それに参加しておくことが望ましい。

(新)科目は、平成12年度新設科目です。11年以前の入学者(2年生以上)は、聴講は可ですが、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
(新)臨床心理基礎実習 (00J0042) 榎木満生 伊藤美奈子 青木紀久代 伊藤亜矢子	I 通 2単位	臨床心理学の基礎としてまず学ばなければならない基本的な態度を実習する。例えば、カウンセラーとしての基本的倫理や「来談者から学ぶ」姿勢を持つことの重要性や、常に臨床心理的面接と医学的面接や教育的面接との差異、来談者の状況(発達段階、家庭環境、社会経済的状況など)に応じて異なる対応などを各先生から出される事例を基に考えていく。さらに初回面接時の受診理由、主訴、現病歴、家族歴などの基礎的事項を聞くとき、どのように対応したらよいのかを学ぶ。
(新)臨床心理実習 (00J0043) 榎木満生 伊藤美奈子 青木紀久代 伊藤亜矢子	I 通 2単位	基本的面接方法を、相談内容の類型別に学ぶと共に、面接初期の期待過剰、面接中期の抵抗、面接終結期の分離不安など面接中に起こってくる様々な諸相に対する対処法を実習する。 さらに各担当を通して、臨床心理学的面接にも様々な様式や方法があることを学ぶ。一つの事例に対してもそれぞれ発達心理学的考察、精神力動的考察、来談者中心的考察など様々な見解があることを知り、それぞれの対応法で最善を求めたとき、臨床心理的面接では何ができ、治療者としてどのように対応していけばよいのかを、個々に実習した事例の検討を通して深めていく。
社会集団論演習 (00J0045) 天野正子	I・II 通 4単位	参加者が各自の関心テーマにもとづいて、内外の先行研究を講読し、そこから導かれる知見と方法論を整理しつつ、修士論文作成のための新たな方法論的枠組みを構築していくことをめざす。
社会意識論 (00J0046) 坂本佳鶴恵	I・II 通 4単位	差別とアイデンティティをテーマに最近の文献を講読、議論する。アイデンティティ論、カルチュラルスタディーズ、マルチカルチュアリズムなどの文献が対象となる。 『アイデンティティ・ゲーム』『思想 アイデンティティ特集』『ジェンダー・トラブル』Excitable Speech など。

(新)科目は、平成12年度新設科目です。11年以前の入学者(2年生以上)は、聴講は可ですが、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
社会意識論演習 (00J0047) 立岩真也 浜日出夫	I・II 前集中・後 4単位	(立岩)：国家/市場/家族/... がすること/しないこと、しなくてはならないこと/してもよいこと/しなくてもよいこと/してはならないことについて、考えようと思う。「停滞する資本主義のために：の準備」「選好・生産・国境：分配の制約について」等を配付、使用する予定。
社会意識論演習 (00J0047) 立岩真也 浜日出夫	I・II 前集中・後 4単位	(浜)：歴史意識の社会学(浜日出夫) 記念碑・記念館・博物館などをとりあげて、時間と人間、歴史と社会の関係について考察する。
(新)社会福祉論 (00J0048) 平岡公一	I 通 4単位	福祉政策・社会福祉に関する意識・行動の国際比較を主たるテーマとし、次年度の演習において既存の調査データの2次的分析を行なうための準備も兼ねて、関連する英語の文献を読む。ジェンダー、階級・階層、政治意識といった要因を重視して検討をすすめる。
青少年指導文化論 (00J0050) 酒井朗	I・II 通 4単位	仲間集団、生徒文化に関するエスノグラフィックな研究や逸脱に関する社会学的研究(内外の文献)を読みすすめ、質的研究法の習得と青少年の意識、態度に対する社会学的理解の深化を目指す。
メンタルヘルス論演習 (00J0053) 箕浦康子	I・II 通 4単位	社会臨床の領域で個別研究を行う学生のための研究指導を行う。 (備考)隔週で通年開講
心理臨床論 (00J0054) 箕浦康子	I・II 前 2単位	「文化間移動とアイデンティティをめぐる諸問題」 グローバリゼーションの進展で文化的境界を往来する人が多くなり、文化と人間心理の相互構成過程を研究する新領域が生まれ、諸概念の再検討が進んでいる。カルチュラル・スタディーズの流れを汲むディアスポラ研究の知見にも目を配りながら新しい動向をレビューする。

※印科目の履修は、講義内容欄の○を付した科目を修得しておくことが望ましい。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
※心理臨床論演習 (00J0055) 箕浦康子	I・II 後 2単位	「フィールドワーク中級」 社会臨床研究方法論の一つであるフィールドワークを、特にフィールドデータの分析とエスノグラフィーを書くことを中心に学ぶ。初心者は、観察・面接の技法、フィールドノートの作成などの初級フィールドワークを、学部の臨床心理学演習（応用）で学んだ上で、本演習に参加してほしい。 (備考) ○学部臨床心理学演習（応用）
障害臨床学特論 (00J0056) 熊代新 丹野義彦	I・II 前後集中 4単位	(熊代)：面接法、検査法、構造化面接法、質問紙法などの心理アセスメントを中心にして、その基本から応用までを考えていく。実際の臨床場面では、心理アセスメントの技術だけが独立して存在するわけではなく、心理療法・パーソナリティ論・精神病理学などが有機的に結びついている。そこで、心理アセスメントと他の分野との関連を広く視野に入れながら考えていく。新しいトピックスも随所にとりいれながら、臨床心理学の各領域における基本的・古典的なテーマを概説していく。
障害臨床学特論 (00J0056) 丹野義彦 熊代新	I・II 4単位	(丹野)：障害児・者の発達を発達臨床心理学的視点でとらえ、臨床的アプローチを検討する。特に認知面と言語面の発達障害に関して、障害の診断・評価、発達の援助・促進のために必要なアプローチを探索する。
発達社会科学論 (00J0058) 無藤隆	I 前 2単位	発達人間科学系に共通する基礎的方法論と知見を論じる。討議を重んじる。 なお、コース毎の特徴を含めるので、その点は各コースの指導教員に尋ねること。
発達社会科学論 (00J0058) 内藤俊史	I 後 2単位	発達社会科学専攻の必修科目として、教育、発達、臨床、ジェンダー論、地理学等の学問分野の研究テーマ、方法論を学ぶことによって、学際的な基礎を得ることを目的とする。いくつかのコースが開かれるので、履修にあたっては指導教員と相談のこと。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
特別研究 (00J0059) (発達人間科学系教官)	I・II 通 8単位	修士論文の作成を目指し、その計画および実施について、各教官による演習および個別指導を行う。

発達社会科学専攻（生活・開発科学系）

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
家族関係論 (00J1001) 戒能民江	I・II 前 2単位	ドメスティック・バイオレンスを素材に、家族におけるパワー・ポリティックスおよび家族と社会の関係について検討する。
家庭科教育学特論 (00J1002) 牧野カツコ	I・II 前 2単位	アメリカのテキストStrong B.et.al., "The Marriage and Family Experience; Intimate Relationships in a Changing Society. Wadsworth Pub. Co. 1998 7th ed. を読む。特に、アメリカにおける家族の実態と自分自身に関する教育内容と教育方法を知り、日本の家庭科教育への示唆を得る。
消費者問題論演習 (00J1005) 犬塚傳也	I・II 後 2単位	前回の「消費者問題論」(消費者問題の基礎的諸概念の理解を中心とする)をふまえて、論文指導を中心とする。したがって、前回の「消費者問題論」履修者を前提とする。日本を中心とするが、欧米その他の諸外国との比較検討も行う。
長寿社会論 (00J1006) 袖井孝子	I・II 前 2単位	少子高齢社会における家族について学ぶ。日黒依子・渡辺秀樹「講座社会学2 家族」(東大出版会)、Journal of Marriage and the Family 掲載論文ほか。
長寿社会論演習 (00J1007) 袖井孝子	I・II 後 2単位	介護問題を中心に、家族介護の諸問題、ジェンダーと介護などをテーマに Journal of Marriage and the Family, Woman and Aging, Journal of Gerontology, the Gerontologist 等の掲載論文を読む。
生活法社会論 (00J1008) 小谷眞男	I・II 前 2単位	アジア世界における日本法の位置を考える。 テキスト：今井弘道・森際康支・井上達夫編『変容するアジアの法と哲学』有斐閣、1999年。
生活法社会論演習 (00J1009) 小谷眞男	I・II 後 2単位	中国法思想の古典に学んで、日本の法文化について考える。 具体的テキストとしては、『論語』を取り上げる予定。

※印科目の履修は、講義内容欄の◎を付した科目を修得しておくことが望ましい。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
生活政治論 (00J1010) 杉田孝夫	I・II 前 2単位	Isabel V.Hull, Sexuality, State, and Civil Society in Germany 1700-1815 (Cornell University Press, 1996) の8章-10章を読む。 8. Pre-Napoleonic Liberals and the Sexual Determination of Rights 9. Morality and Law: Feuerbach's Reformed Criminal Code in Bavaria 10. Public and Private: The Code Napoléon in Baden.
生活経済論 (00J1012) 御船美智子	I・II 前 2単位	生活経済に関する内外の文献を講読し、生活経済研究の課題、方法-テーマ設定、目的、概念、分析枠組、生活経済論の構成、先行研究、論点提示、検証方法-を検討する。
生活経済論演習 (00J1013) 御船美智子	I・II 後 2単位	生活経済に関する課題を設定し、検証し、生活経済論として組み立てる研究の方法論を検討する。 (備考) ◎生活経済論
生活政策学特論 (00J1014) 小谷眞男ほか 生活政策学コース全教官	I 後 2単位	社会科学の基礎的概念・方法論の修得を目標とする。生活政策学コースの院生は必修。詳細は年度始めに説明する。
生活情報論 (00J1015) 林廓子	I・II 前 2単位	生活科学及び人文社会科学研究に必要な情報の収集・分析の知識及び技術を習得するために、主要な研究方法の1つである調査法を学ぶ。基本理論に関する講義のほか、各種統計調査データの読み取りや利用等、実際の研究場面に即して進める。テキストは講義で配布。 (備考) ◎統計学・社会統計学等
自然環境論演習 (00J1017) 田宮兵衛	I・II 後 2単位	自然環境と参加者のテーマの接点を求め、それに関連する文献の紹介と批判を行う。この場合、自然環境として、かなり広い範囲を想定することとする。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
環境認識論 (00J1018) 杉谷隆	I・II 前 2単位	環境保全運動の分析を通して、現代における人間と自然の関わりあいについて考える。
環境文化論 (00J1020) 関戸明子	I・II 前集中 2単位	農山村の社会と空間をめぐる諸問題について、近年の研究動向を整理しつつ、事例研究によって検討する。言説によってつくられた田園のイメージや農村空間の商品化といった問題も扱いたい。 参考書：関戸明子『村落の空間構成と地域変容』大明堂
環境文化論演習 (00J1021) 内田忠賢	I・II 前 2単位	地域調査実習及び調査報告論文の作成。9月下旬に5日間程度のフィールドワークを行ない、地域の自然・社会・歴史・文化など諸環境について調査・研究する。また、学術論文作成のトレーニングを兼ねる。詳細については、後日、掲示する。他コース、他専攻の院生も歓迎。 (備考) 時間の拘束、費用がかかる点、ご承知下さい。 人文学専攻「歴史・地理特別演習」(通年、4単位)ともリンクします。
地域経済論 (00J1022) 内藤博夫	I・II 後 2単位	釜石市と米沢市を具体的事例地域として地域経済の発展とそれがはらむ問題点について検討する。 教科書：一言憲之・安田尚道共著「地域産業の再構築戦略」(新評論) なお、教科書は貸出しを行う。
地域経済論演習 (00J1023) 栗原尚子	I・II 前 2単位	David Harvey, "Justice, Nature & the Geography of Difference", Blackwell, London, 1996 の輪読。
地域情報論演習 (00J1025) 水野勲	I・II 前 2単位	地理情報システム (GIS) は研究だけではなく、企業、自治体などでもさかんに応用されつつある。この新しい地理情報テクノロジーがもたらす社会・経済的、倫理的問題について、Curry, M. (1998): Digital places. を読んで考えたい。

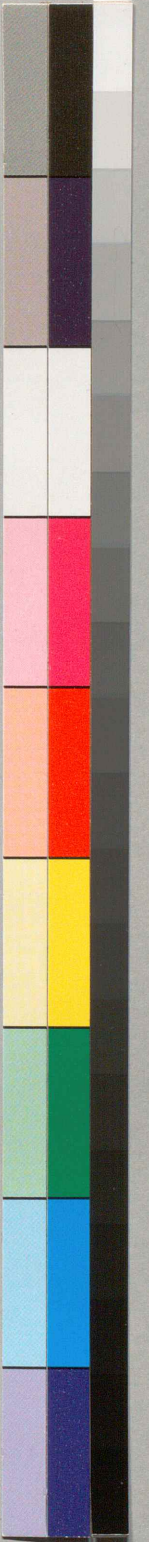
科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
開発・ジェンダー論特論 (00J1040) 開発・ジェンダー論コース教官	I・II 前 2単位	開発・ジェンダー論に関する視座と方法論を開発・ジェンダー論コース全教官がオムニバス方式で講義する。
ジェンダー関係論 (00J1026) 館 かのる	I・II 前 2単位	ジェンダー概念の考察をテーマにした日本語及び英語の文献講読を行なう。ジェンダー概念成立過程及び現時点での論点を、文献を講読しながら考察する。
ジェンダー関係論演習 (00J1027) 館 かのる	I・II 後 2単位	ジェンダー概念の理解を深める文献を講読するとともに、ジェンダー規範と制度との連関を分析することを試みる。文献講読を中心としつつ、各自が注目したテーマを研究課題とし、相互検討を行なう。
ジェンダー文化論 (00J1028) 波 平 恵美子	I・II 前 2単位	「ジェンダー」という概念についての文化人類学における研究の歴史と現在での議論を概説する。そのうえで、ジェンダーという視点で従来の文化人類学の研究を再考する。具体的には、基礎的研究文献を読み、解説、検討、議論する。
ジェンダー文化論演習 (00J1029) 波 平 恵美子	I・II 後 2単位	ジェンダーという概念を文化人類学がどのように発展させてきたかについて、具体的なフィールドワークによって得たデータを用いて検討する。また、受講生のフィールドワークの経験や得たデータを基に、フィールドワークの方法やデータ分析について議論する。
開発地域文化論 (00J1031) 熊 谷 圭 知	I・II 前 2単位	国際人口移動の理論と実態について、内外の文献を読み、議論します。具体的な文献については、受講生の関心とテーマを考慮しながら決定します。
開発経済学 (00J1034) 村 松 安 子	I・II 前 2単位	「開発」を経済開発、社会開発、人間を中心とする開発／と開発概念の広がりの中で跡づける。その上で開発の物的基盤である経済開発も工業化や工業化戦略、対外経済関係（含む外国援助問題）だけでなく、貧困の解消・よりよい人間生活の実現という観点から、政府やNGOの役割をも含めて考察したい。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
フェミニスト経済学 (00J1033) 永 瀬 伸 子	I・II 前 2単位	女性、家族についての経済学からの分析枠組みと研究成果をサーベイする。具体的なテーマとして、消費行動、就業行動、家族形成等を取り上げる。参加者は、基本文献および発展論文を英語・日本語で読むことを求められる。また数量分析も多少扱う。
フェミニスト経済学演習 (00J1035) 永 瀬 伸 子	I・II 後 2単位	女性の就業行動や家族を中心として、英文論文を取り上げ、輪読する。同時に各自の研究テーマの発表と議論も行う。
開発政策論 (00J1036) 石 塚 道 子	I・II 前 2単位	第二次大戦後の第三世界の政治的登場の直接的結果であり、第三世界を統合するためのイデオロギーである「開発」について世界システム論の視点から分析し、開発政策の形成、主体の二重性、国際機関の役割、開発と債務、開発とジェンダー問題を考察する。
開発政策論演習 (00J1037) 石 塚 道 子	I・II 後 2単位	開発政策の変遷、開発と貧困、開発と文化、開発とジェンダー、開発言説等のテーマを各自が選択し、文献講読、報告を基に議論する。またそのテーマについての研究、フィールドワーク方法論についての考察を行なう。
比較ジェンダー開発論 (00J1038) 伊 藤 る り	I・II 前 2単位	「ジェンダーと開発」と呼ばれる政策分野の問題関心、その歴史の変遷、分析枠組、指標、政策実施機関と対象の関係などについて基礎的な知識を習得し、国際社会学的な観点から考察する。参考書：C. モーザ『ジェンダー・開発・NGO』、N. Kabeer, <i>Reversed Realities</i> ほか。
比較ジェンダー開発論演習 (00J1039) 伊 藤 る り	I・II 後 2単位	植民地支配、植民地解放闘争、新国家建設、旧宗主国への移住など、異なる歴史的文脈のなかで〈女性のエンパワーメント〉がどう語られ、またどのような政策が展開されてきたのか、英語、日本語の文献を精読しながら考察していく。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
発達社会科学論 (00J1043) 生活・開発科学系教官	I・II 通 2単位	生活・開発科学系の共通講義。 この学系に所属する教官が、各自の専門分野（地理環境学／生活政策学／開発・ジェンダー論）について話題を提供し、出席者全員で議論をします。報告者（教官）が最近取り組んでいるホットなテーマをめぐって、様々な視点からの議論を行う予定です。
特別研究 (00J1044) 生活・開発科学系教官	I・II 通 8単位	教官の指導の下に、各人のテーマの修士論文の作成を目標とした研究を行う。

ライフサイエンス専攻

(生活科学系)



ライフサイエンス専攻（生活科学系）

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
嗜好成分化学特論演習 (00K0002) 久保田 紀久枝	I・II 後 2単位	嗜好成分化学に関する最新の文献を各自検索する。検索した文献について紹介し、討論する。
食嗜好評価学特論 (00K0003) 畑 江 敬 子	I・II 前 2単位	食物の嗜好特性には食物に由来する要因と、それを食べる人間に由来する要因とがある。両面から嗜好特性を評価するための手法をこれまでの研究例に基づき解説する。さらに、調理・加工により食物を嗜好性の高い方法へ制御するための方法について考察する。
調理科学特論演習 (00K0006) 香 西 みどり	I・II 後 2単位	調理科学的視点から興味深いテーマを取り上げ、それに関連する最新の文献を各自検索する。検索した文献について紹介し、討論する。
食品保存科学演習 (00K0008) 本 間 清 一	I・II 後 2単位	食品の保存方法、加工・保存中で起こる成分変化や状態変化をしらべる研究・実験手法を学会誌の報文を読み討論する。さらに食品の規格や品質表示基準の社会的役割を解説し、技術の変遷を総説を読み討論する。
食資源学特論 (00K0009) 足 立 泰 二	I・II 前集中 2単位	人類の食資源として開発されて来た農作物の遺伝的背景を多面的に概説した上で、食文化へと展開した2、3の事例を資源植物学的観点から論ずる。さらに今後の研究展望についても考察を加える。
食品分析学 (00K0011) 森 光 康次郎	I・II 前集中 2単位	食用植物由来の生体機能調節物質が注目されている。それら有効かつ微量な食品因子の発見には、近年の分離・分析技術の進歩が大きく貢献している。いくつかの卓越した食品因子の単離例を挙げ、NMRやMSなど分光光学的な食品機器分析法を体系化して論ずる。
資源微生物学特論 (00K0013) 富 永 典 子	I・II 前 2単位	地球上の生物は微生物なしでは生きてゆけない。微生物の自然界で果たす役割について基礎的に追究し、また動植物の培養細胞との類似点、相違点についても述べる。さらに微生物の能力を食品分野だけでなく一般の生活において応用した例及びその可能性についても論ずる。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
代謝制御学特論 (00K0017) 藤原葉子	I・II 後集中 2単位	生体内の代謝制御について、特に脂質代謝を中心とする酵素や細胞内転送蛋白質などの代謝関連蛋白質による制御機構を概説する。さらにこれらの蛋白質発現の遺伝子レベルでの調節と食品中の栄養素や微量成分との関係について論ずる。
生体防御学特論 (00K0018) 近藤和雄	I・II 前集中 2単位	地球上の生物の基本的な環境リスクは、紫外線を含む放射線と酸素である。これらの環境リスクと動脈硬化症の関連、そして、これら環境リスクに対する防御について学ぶ。
生化学特論 (00K0021) (未定)	I・II 後集中 2単位	
食品生化学演習 (00K0023) 倉田忠男	I・II 前 2単位	食品生化学関連分野における最近の学術論文を読み、その内容につき評価・検討、ならびに討議する。
臨床栄養学特論 (00K0024) 金子佳代子	I・II 前集中 2単位	エネルギー代謝および体組成に関する講義と実習を行なう。 参考書：小池五郎著「やさしい栄養学」(女子栄養大学出版社)
衣生活環境学特論 (00K0025) 長谷部ヤエ	I・II 前 2単位	着衣の形態や素材の物性の違いが、整理的測定値と熱的快適性にどのように影響するか、またそれらが人体から環境への熱・水分移動にどのように関係するかを学ぶ。
生活空間設計論 (00K0028) 田中辰明	I・II 前 2単位	居住空間、給水設備、給湯設備、排水設備、暖房設備、空気調和設備、換気設備の設計法について学ぶ。建築の省エネルギーの大切さについて、省エネルギー建築、代替エネルギー利用建築について学ぶ。
人間生活物理学特論 (00K0029) 會川義寛	I・II 前 2単位	物理学の観点から見た解剖学と生理学を学ぶ。 教科書：河野邦雄・伊藤隆造・堺章『解剖学』医歯薬出版

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
人間工学特論 (00K0031) 大瀧雅寛	I・II 前 2単位	安全で快適な水、空気環境システムの工学的な構築を最も効率的に行うためには外部環境が人間に与える様々な影響に関して工学的に評価する必要がある。本講義では、その評価手法について学ぶ。
人間生活工学演習 (00K0032) 人間生活工学コース教官	I・II 後 2単位	人間が生活していく際に生ずる問題を工学の観点から取り扱う方法、ならびにその研究成果を英文論文として発表する方法を演習形式で学ぶ。
生活高分子材料学特論 (00K0034) 小川昭二郎	I・II 後 2単位	我々の生活の中で高分子材料は益々増え続けている。この10年間でその性能は格段に向上しており、また、分離膜等の機能性高分子材料も生活の中に取り入れられている。最近の高性能、高機能高分子材料の動向を論ずると共に、生活材料としての問題点を探る。
生活材料物性特論 (00K0035) 仲西正	I・II 後 2単位	生活材料について、物理化学的視点から、材料の機能発現メカニズム、特に、機能と構造、機能と様々な相互作用などに関して考察する。分離機能性高分子、ゲル、高分子電解質、分子認識などの問題を取り扱う。
応用界面科学特論 (00K0038) 駒城素子	I・II 前 2単位	生活の様々な面で生ずる現象のもとになっている界面の科学について、基礎的問題をとりあげ、その評価、解析法とともに、汚れの吸付着と脱落の機構の解析や、繊維加工への応用に展開する。
環境心理学特論 (00K0040) (未定)		2単位
環境生活工学演習 (00K0041) (環境生活工学コース教官)	I・II 前 2単位	環境のもとで生活していく際に生ずる問題を工学の観点から取り扱う方法、ならびにその研究成果を英文論文として発表する方法を演習形式で学ぶ。
生理行動学特論 (00K0042) 富田守	I・II 前 2単位	人間の生活行動について身体動作と神経機構に関する文献を読み、討議する。

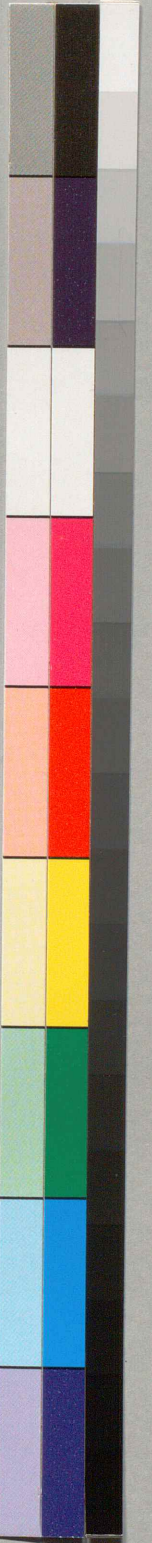
科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
比較行動学特論 (00K0043) 柴坂寿子	I・II 後 2単位	人間の自然な生活の場における対人行動、対面コミュニケーション、小集団内の社会構造等、人間の社会行動に関する比較行動学的研究の文献を講読する。また、人間行動の観察研究方法について、文献とビデオ資料による討論を行う。
人類進化学特論 (00K0044) 松浦秀治	I・II 後集中 2単位	生理行動学、比較行動学、人類進化学、健康医学、生体制御学等、生物人間科学の諸分野における新着の論文を読み、その内容を評価・検討するとともに、各分野を通じた共通問題について討議を行い、生物人間科学の統合的把握をめざす。
健康医学特論 (00K0045) 永川祐三	I・II 前 2単位	人類生存の基本条件である健康を人体科学および保健管理学の領域概念を踏まえて、衣食住を中心として、見直し、自己の生涯設計の中に健康を組み込み自己実現可能な状態を生み出させるため基本的な健康医学を論じる。
生体制御学特論 (00K0046) 鈴木恵美子	I・II 後 2単位	生命を維持するうえで生体機能の恒常性は非常に重要で、生体は外部の環境変化に適応して体内の恒常性を維持するための調節機構を備えている。この生体内調節機構の概要について微量生体成分との関連も含めて論じる。
身体構造学特論 (00K0047) 溝口優司	I・II 前集中 2単位	ヒトの身体構造も他の生物のそれと同様、環境への適応的進化によって形成されてきたものと考えられているが、それがどのように形成されてきたのかを、頭蓋や歯の統計学的分析を通じて得られた知見を中心に論ずる。 参考書：講義時に適宜紹介。
生物人間科学演習 (00K0048) (生物人間科学コース教官)	I・II 前 2単位	人類の誕生や現代人の起源を解明する上で不可欠な領域に「年代学」がある。本特論では、人類進化学が扱う時代に適用される年代測定・判定法について解説し、各手法が抱える課題を知ることによって、人類の起源と進化に関する様々な仮説の年代学の問題点を理解させる。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
ライフサイエンス論 (00K0049)	I・II 前 2単位	本専攻は、基礎部門（生命科学系）と応用部門（生活科学系）の2つに別れているが、両者の長所と特徴を統一して、より一層の教育効果を期待するものである。この目的のため2系にわたるライフサイエンスの全体像を把握させ、各自の研究の意義を理解させることにより、修士論文の作成を含む、今後の研究発展に役立たせる。
特別研究 (00K0050) (生活科学系教官)	I・II 通 10単位	教官の指導の下に、各人のテーマの修士論文の作成を目標とした研究を行う。

科目名 (科目コード)	単位数	履修条件	科目概要	担当教員
新編 基礎生物学 I (100001)	2		基礎生物学の基礎を学ぶ。動物学、植物学、微生物学、生化学の各分野の概観を学ぶ。実験を通して生物の観察と実験を行う。	佐藤 健一
新編 基礎生物学 II (100002)	2		基礎生物学の基礎を学ぶ。動物学、植物学、微生物学、生化学の各分野の概観を学ぶ。実験を通して生物の観察と実験を行う。	佐藤 健一
新編 基礎生物学 III (100003)	2		基礎生物学の基礎を学ぶ。動物学、植物学、微生物学、生化学の各分野の概観を学ぶ。実験を通して生物の観察と実験を行う。	佐藤 健一
新編 基礎生物学 IV (100004)	2		基礎生物学の基礎を学ぶ。動物学、植物学、微生物学、生化学の各分野の概観を学ぶ。実験を通して生物の観察と実験を行う。	佐藤 健一
新編 基礎生物学 V (100005)	2		基礎生物学の基礎を学ぶ。動物学、植物学、微生物学、生化学の各分野の概観を学ぶ。実験を通して生物の観察と実験を行う。	佐藤 健一
新編 基礎生物学 VI (100006)	2		基礎生物学の基礎を学ぶ。動物学、植物学、微生物学、生化学の各分野の概観を学ぶ。実験を通して生物の観察と実験を行う。	佐藤 健一
新編 基礎生物学 VII (100007)	2		基礎生物学の基礎を学ぶ。動物学、植物学、微生物学、生化学の各分野の概観を学ぶ。実験を通して生物の観察と実験を行う。	佐藤 健一
新編 基礎生物学 VIII (100008)	2		基礎生物学の基礎を学ぶ。動物学、植物学、微生物学、生化学の各分野の概観を学ぶ。実験を通して生物の観察と実験を行う。	佐藤 健一
新編 基礎生物学 IX (100009)	2		基礎生物学の基礎を学ぶ。動物学、植物学、微生物学、生化学の各分野の概観を学ぶ。実験を通して生物の観察と実験を行う。	佐藤 健一
新編 基礎生物学 X (100010)	2		基礎生物学の基礎を学ぶ。動物学、植物学、微生物学、生化学の各分野の概観を学ぶ。実験を通して生物の観察と実験を行う。	佐藤 健一

ライフサイエンス専攻

(生命科学系)



ライフサイエンス専攻 (生命科学系)

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
糖鎖分子生物学 (00K1001) 松本 勲 武	I・II 前 2単位	動物レクチン・植物レクチンの構造と機能について解説する。
生物化学特論 (00K1002) 相川 京子	I・II 後 2単位	エンドサイトーシス、エクソサイトーシス、あるいは細胞内での物質輸送に関連した、生体分子間の多様なネットワーク機構や物質認識の階層性について解説する。
生物化学特論演習 (00K1003) 松本 勲 武	I・II 後 2単位	生物化学の最新の論文を読んで知見を広めるとともに、論文の書き方、発表の仕方などについて学ぶ。
分子生物化学特論 (00K1004) 小川 温子	I・II 前 2単位	遺伝子からタンパク質までの基本的な情報の流れに対し、翻訳後の修飾は分子に多様性と様々な調節機能を与える。これによって高度な生物機能が達成されることを具体例をあげて解説する。
糖質科学 (00K1005) 小川 温子	I・II 前 2単位	糖質は、核酸、タンパク質に次いで、生命の第3の鎖と言われる。がん細胞に始まる糖質の機能と構造研究の歴史を概説し、構造との相関、糖質研究手法と糖質工学の発展を解説する。
糖質科学演習 (00K1006) 小川 温子	I・II 後 2単位	複合糖質の単離、構造、相互作用、分布、機能およびこれらの解析方法に関する最近の重要な学術論文を紹介する。関連分野の総説講読も含む。また、あるテーマにそった研究計画 (Research Proposal) を作成し、相互に批評する。
植物分子生物学 (00K1007) 芦原 坦	I・II 後 2単位	最近、植物の様々な生理現象が生化学レベル、遺伝子レベルで明らかにされつつある。ここでは、これらの新しい学問を理解するのに不可欠な生化学や分子生物学の基礎と植物に特有な研究について概説する。
代謝生化学特論 (00K1008) 芦原 坦	I・II 前 2単位	代謝の調節機構について概説し、さらに、各論としてエネルギー代謝と窒素代謝を取り上げ、最新の代謝制御理論とその問題点について述べる。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
代謝生化学特論演習 (00K1009) 芦原 坦	I・II 前 2単位	高等植物の代謝に関する最新の論文を読んで知見を広めるとともに、論文の書き方、発表の仕方などについても指導する。
分子細胞生物学特論 (00K1010) 林 正 男	I・II 前 2単位	細胞接着分子の細胞に対する作用及び細胞接着分子の遺伝子発現制御機構について概説する。細胞に対する作用は、シグナル伝達系、細胞骨格系及び遺伝子発現への効果を分子レベルで概説する。
細胞生物学特論 (00K1011) 林 正 男	I・II 後 2単位	発生、損傷治癒、免疫、癌の転移等の高次の生命現象において、細胞接着分子の果たしている役割を細胞接着分子の構造と機能及び細胞-細胞マトリックス、細胞-細胞接着機構の観点から概説していく。
細胞生物学特論演習 (00K1012) 林 正 男	I・II 後 2単位	細胞生物学領域で問題となっている特定のテーマを選び、その問題点、背景、いままでの動向を調べる。さらに、解決策、各解決策の利点・欠点、今後の展望を考えて、文章としてまとめ、口答で発表する。
細胞情報特論 (00K1013) 室 伏 きみ子	I・II 前 2単位	細胞がその内外の情報を受容し、伝達・増幅して、種々の応答を示すことが明らかになっている。本特論では、情報(シグナル)伝達の仕組みを理解し、更にそれを明らかにするための解決方法を学ぶ。
細胞生化学特論 (00K1014) 室 伏 きみ子	I・II 前 2単位	生命現象の基本単位である細胞について、その構造と機能を分子レベルで解析する手段を学ぶ。更に、各種の反応や物質が、どの様に組織化され、統合されて、生命活動が営まれているかについて考察する。
細胞生化学特論演習 (00K1015) 室 伏 きみ子	I・II 後 2単位	細胞生化学特論の講義内容に述べた事柄の更なる理解と発展のために、新しい論文の講読を行う。自ら論文を作成する訓練も、並行して進める。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
分子遺伝学特論 (00K1016) 松 浦 悦 子	I・II 後集中 2単位	遺伝情報の複製や発現の機構について、主として真核生物におけるこれまでの研究の発展の過程を概観し、さらに最新の研究成果を紹介する。これらに基づいて、遺伝学がこれからの生命科学の分野において担うべき役割を考える。
オルガネラ遺伝学 (00K1017) 松 浦 悦 子	I・II 前 2単位	ミトコンドリアや葉緑体の遺伝情報はどのように維持され、次の世代へと伝達されるのか。オルガネラDNAの複製、遺伝子発現の機構、核ゲノムとの相互作用、進化、などの観点から幅広く考察する。
オルガネラ遺伝学演習 (00K1018) 松 浦 悦 子	I・II 後 2単位	ミトコンドリアや葉緑体のゲノム構造、機能、進化などに関する研究論文を講読する。最新の研究の動向に対する理解を深め、各自の研究テーマと関連させながら、今後の研究について議論する。
生体膜代謝論 (00K1020) 小 林 哲 幸	I・II 後 2単位	生体膜を形成する脂質の構造と機能について概説し、膜脂質の代謝及びその結果として産生される脂質性メディエーターについての最新の知見について考察する。
分子進化学 (00K1021) 石 和 貞 男	I・II 後集中 2単位	分子レベルと表現型レベルの進化機構論に横たわる大きなギャップをいかに埋めるかを中心テーマとして「分子進化の中立説」とその後の動きについて概説する。具体的には、神経行動系や生体防御系等の高次機能、さらには形態形成に関連したシステムとそれらに関する遺伝子(DNA)の進化様式に注目して、従来の枠組みにとられない進化遺伝学を展開したい。
集団遺伝学 (00K1022) 石 和 貞 男	I・II 前 2単位	生物集団に見出される遺伝的多様性の保有機構を中心に概説する。特に、生物集団が、いくつかの部分集団に分割された時、多様性がどのように変動するかを時間軸を追って追求し、種分化の問題や生物資源保護の問題と関連させつつ解説する。履修に際しては、分子遺伝学の基礎概念が要求される。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
集団遺伝学演習 (00K1023) 石和貞男	I・II 後 2単位	生物の遺伝的多様性と進化に関する研究課題を選び、それに関連する基本的文献を輪読して最近の研究成果を理解し、生命体システムの歴史的視点がいかに重要かを学ぶと共に、自分の問題意識を確立させる。随時、外部の研究者による進化学研究のトピックスについて話題提供と討論を行う時間を設け、創造的研究の大切さを学ぶようにする。
細胞運動特論 (00K1025) 馬場昭次	I・II 前 2単位	細胞運動の仕組みを、生理学的観点から研究するための方法論を説く。最近の分子生物学的、生物物理学的研究から明らかになりつつある、繊毛・鞭毛の運動機構の研究成果について講義する。
細胞運動特論演習 (00K1026) 馬場昭次	I・II 前 2単位	細胞運動に関する最近の論文を検索し、輪読あるいは論文内容の紹介・解説を行う。
植物系統進化学 (00K1027) 山下貴司	I・II 前 2単位	1) 分類体系：先人が積み上げてきた系統分類体系を紹介し、その基礎となっている比較形態、比較発生を論ずる。 2) 古植物学：急速に進歩している植物化石の研究を紹介し、地質時代における植物進化の解明を論ずる。 3) 種分化：自然界における植物集団の交雑、適応、隔離について、生態学および集団遺伝学的研究を紹介する。
植物発生学 (00K1028) 山下貴司	I・II 後 2単位	1) 生殖・生活史：藻類、菌類、蘚苔類、羊歯類、裸子植物、被子植物について、生殖器官の構造と発達、生活史。 2) 個体発生：羊歯類、裸子植物、被子植物について、胚発生、頂端分裂組織(成長点)、根、茎、葉など器官の形態形成、組織発生を解説する。
植物発生学演習 (00K1029) 山下貴司	I・II 後 2単位	植物の生殖、生活史、胚発生、形態形成、組織発生に関する基礎的な外国文献の講読。 (備考) ドイツ語またはフランス語の初歩が必要。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
分子発生学 (00K1030) 千葉和義	I・II 前 2単位	発生・分化を制御している遺伝子群の発現機構を理解するために、細胞内情報伝達系との関連について、解説する。
発生生物学 (00K1031) 根本心一	I・II 前集中 2単位	海産動物卵を用いて、形態形成に関わる卵の極性、胚軸の決定や卵割の機構をテーマに実習と討論を行い、解析手段の修得と発生の基本原理の理解を深める。単位互換制度に基づき、他大学の院生をも対象にした公開実習で、理学部附属館山臨海実験所で行う(夏期集中)。
発生生物学演習 (00K1032) 根本心一	I・II 後 2単位	発生生物学に関するトピックスを幅広く取り扱う。特に卵成熟分裂・卵割の分裂極となる中心体や細胞周期の確立に関する核と細胞質の相互作用に重点を置く。今後の発生生物学の研究を切り拓く創造力の養成に努める。
宇宙生物科学特論 (00K1033) 最上善広	I・II 後 2単位	地球上の生命活動を、全く異質な環境(宇宙環境)で展開することによって生ずる諸問題を取り上げ、地球環境(重力、放射線、概日リズム等)と生命活動との関連を論ずる。
細胞生理学特論演習 (00K1035) 最上善広	I・II 後 2単位	生物時間や生体リズムの発生、及びそれらの維持機構、細胞内の運動特性、さらにそれらに関連する細胞内生理活性の外界応答を取り扱った論文や関連分野の文献の広範なレビューを行う。
形質発現植物生理学 (00K1036) 作田正明	I・II 後集中 2単位	高等植物の形質の発現機構を代謝レベルより解説する。特に、古くより植物の代表的な形質として、遺伝学などでも指標とされてきた花色に注目し、その発現機構を生化学、分子生物学的側面から解説する。
植物環境応答学 (00K1037) 作田正明	I・II 前 2単位	動くことができない植物は、常に周囲の環境の変化に直接曝されている。それゆえ植物には、独特の環境応答機構を存在し、これには種々の自己防御のための機構も含まれる。この中から、光、傷害、病原菌感染等に対する応答機構を取り上げ、これらについて分子レベルより解説する。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
植物環境応答学演習 (00K1038) 作田正明	I・II 後 2単位	植物の光、傷害、病原菌感染等に対する応答機構に関する論文を読み、その内容についてゼミ形式で討論する。
植物相関生理学 (00K1039) 加藤美砂子	I・II 前 2単位	アレロパシー、共生などの現象を取りあげ、植物と他の生物との関係を植物生理学の視点から解説する。
植物代謝生理学 (00K1040) 山本直樹	I・II 前 2単位	代謝生理学を飛躍的に発展させた近年の分子細胞生物学や分子遺伝学の研究成果を概説しながら、一次生産者としての植物の代謝調節を考察する。特に、核や葉緑体等の細胞内小器官間の情報伝達や相互作用の新しい視点から代謝調節を論ずる。
植物代謝生理学演習 (00K1041) 山本直樹	I・II 後 2単位	植物の代謝調節研究を発展させた蛋白質の細胞内輸送の分子細胞生物学的な研究論文を講読し、研究の進め方、並びに論文のまとめ方を習得する。
海洋生物学特論 (00K1042) 清本正人	I・II 後集中 2単位	生命の誕生した海には、現存する生物のほとんどの門に含まれる動植物が棲息している。海産生物の、特に生殖や発生について概説し、さらに発生の仕組みの進化や系統発生との関係について考察する。
形態発現特論 (00K1043) 清本正人	I・II 前集中 2単位	個体発生の受精卵より生じる細胞集団の中で、各組織が分化し、生物の形態が作り上げられていく過程について、デターミナント、誘導、形態形成運動などの発現現象が、成体分子によってどこまで明らかにされているのかについて論ずる。
形態発現特論演習 (00K1044) 清本正人	I・II 前集中 2単位	受精卵から形態形成へと至る発現現象の理解に重要な文献や、最新の論文から興味深いものを選んで論文講読と討論を行う。
生命科学演習 (00K1047) (生命科学系教官)	I・II 通 4単位	年間に数回程度、各自の研究の中間報告を行うことによって、互いの研究に対する理解を深めるとともに、研究成果のまとめ方と発表の仕方を習得させる。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
ライフサイエンス論 (00K1048)	I・II 前 2単位	本専攻は、基礎部門（生命科学系）と応用部門（生活科学系）の2つに別れているが、両者の長所と特徴を統一して、より一層の教育効果を期待するものである。この目的のため2系にわたるライフサイエンスの全体像を把握させ、各自の研究の意義を理解させることにより、修士論文の作成を含む、今後の研究発展に役立たせる。
特別研究 (00K1049) (生命科学系教官)	I・II 通 10単位	各指導教官の下で、各人のテーマに基づいた修士論文の作成を目標とした研究を行う。

物質科学専攻

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
磁性体特論 (00L0001) 古川はづき	I・II 後集中 2単位	磁性全般に関する基本的な事柄について学び、強相関電子系で問題となる電荷-スピン-軌道秩序が織りなす複合物性について考察する。
磁性体特論演習 (00L0002) 古川はづき	I・II 前 2単位	平成12年度は「第2種超伝導体」を取り上げ、その混合状態(磁束格子構造)を中心とする諸問題について論文等の講読を行う。
固体物理学特論 (00L0005) 富永靖徳	I・II 前 2単位	物理学に現れる対称性を系統的に理解するためには、群の表現論が有効である。この群の表現論の入門として、有限群の表現とその応用を概説する。入門では、具体例をあげながら、基礎的な概念を学ぶ。応用では、結晶点群や分子振動と基準座標等を取り上げて概説する。
固体物理学特論演習 (00L0006) 富永靖徳	I・II 後 2単位	外国文献の講読・紹介と討論をゼミ形式で行う。
相転移特論 (00L0009) 今井正幸	I・II 前集中 2単位	複雑液体の代表である分子膜・高分子がつくる秩序構造を記述する自由エネルギーの表式をギンツブルグ-ランダウおよび自己無撞着場法により説明する。また、その相転移ダイナミクスについても解説する予定である。
非線形化学 (00L0010) 藤枝修子	I・II 後 2単位	脳の神経伝達や生物のいとなみなども非線形、非平衡過程の現象である。その背景となる化学反応は従来からの考え方では理解できない挙動が見られ、極めて複雑である。これらの現象として化学振動反応の実験的な実例を中心に考察する。
複雑系分析化学演習 (00L0012) 藤枝修子	I・II 前 2単位	非線形化学反応が非平衡過程で進行する実例として、化学振動反応が何種類かある。これらの振動挙動を化学的に追跡するための分析化学的手法を実験とデータ解析の立場から演習を行う。 教科書：最近の論文をテキストに使用する。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
凝縮系分光学 (00L0015) 益田 祐一	I・II 前集中 2単位	凝縮系とくに溶液状態におけるNMR法の適用について、その基礎を講義するとともに、分子構造、電子構造、化学反応、分子運動の解明についての応用例について紹介する。また、実際に装置を用いて、NMR装置の原理解説や、諸測定法についてデモンストレーションを行う。
揺動現象特論 (00L0016) 八尾 誠	I・II 後集中 2単位	
散逸系のダイナミクス (00L0017) 齋藤 理一郎 野瀬 卓平	I・II 前集中 2単位	
分子集合体物性論演習 (00L0019) 堀 佳也子	I・II 後 2単位	有機結晶のキャラクタリゼーション、構造決定法に関する英語文献の輪読および討論。
計算化学特論 (00L0021) 平野 恒夫 武次 徹也	I・II 前集中 2単位	計算化学は、分子力学、分子軌道法(量子化学)、分子動力学などの計算手法によって、分子の構造や反応を理論的に理解し、予測しようとするもので、コンピューターの進歩に支えられて発展してきた新しい学問領域である。計算化学の歴史を概観したのち、分子力学、分子軌道法(量子化学)、分子動力学などの計算化学手法を紹介し、孤立分子から分子集合体に至るまで、これらの手法を用いてその構造、性質、反応をどう理解し、予測してゆくかについて、最近のトピックスを交えて講述する。
鎖体構造化学 (00L0024) 福田 豊	I・II 前集中 2単位	錯体化学の基礎概念をレビューし(前半部分)、錯体の機能性、新規物性についての解説を行う(後半部分)。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
鎖体構造化学演習 (00L0025) 福田 豊	I・II 後 2単位	多数の無機物質の構造特性、合成法、反応性等について、演習講義する。現代トピックスとなっている研究論文を読み、無機化学・錯体化学の方法論について演習する。
天然物有機化学 (00L0026) 永野 肇	I・II 後集中 2単位	植物、動物、微生物等により生体内で合成される低分子有機化合物であるテルペン、ステロイド、脂肪酸関連化合物、ポリケチド、ポリフェノール等の単離・構造決定、合成、生合成、生物活性等について解説する。
有機反応化学演習 (00L0028) 永野 肇	I・II 前 2単位	新着雑誌の中から有機化学反応に関連した注目すべき論文を講読し、討論をおこなう。この演習を通して最新の有機化学反応を理解すると共に、自身の研究の進め方についても習得する。
蛋白質結晶学 (00L0029) 今野 美智子	I・II 前 2単位	蛋白質が結晶化する過程と重原子が分子の表面に配位する過程について解説する。X線の散乱と干渉を利用する回折の原理および結晶構造解析法の原理と手法について述べ、得られる構造の意味することとその限界について解説する。
分子凝集機構論 (00L0032) (未定)	I・II 2単位	
物性物理化学特論演習 (00L0034) 堀 佳也子	I・II 前 2単位	有機分子性固体に関する最近のトピックスをまとめた英語文献の輪読。
理論化学特論 (00L0036) 鷹野 景子	I・II 前 2単位	20世紀初頭に端を発する理論化学の発展は、計算機の発展の歴史と密接に関係する。計算機を駆使した計算機シミュレーションにおいては、分子力学法、分子軌道法、モンテカルロ法、分子動力学法などが駆使されている。これらの方法の基礎的な理論およびその適用例を最近のトピックスを含めて解説する。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
理論化学特論演習 (00L0037) 鷹野 景子	I・II 後 2単位	化学における理論的研究手法である、分子力学法、分子軌道法、モンテカルロ法、分子動力学法などについて、各法論およびこれらを組み合わせた新しい手法、さらにその応用に関する文献を講読し討論する。
有機機器分析 (00L0039) 秋葉 欣哉	I・II 前 2単位	酸・塩基と置換基効果 (Hammett則) 及び同位体効果、カルボカチオンとその転位反応、Woodward-Hoffmann 則とその応用、カルボアニオンの安定化と高周期典型元素の特徴、有機超原子価化合物の性質と応用など有機反応の基本的な考え方を講義する。
有機機器分析演習 (00L0040) 山田 眞二	I・II 後 2単位	新着雑誌の中から有機化合物の合成と構造決定に関連した論文を紹介し、その内容について討論することで、複雑な有機分子の立体構造の決定法を理解する。
分析化学特論 (00L0042) 森 義仁	I・II 前 2単位	現代の分析化学のトピックスを選択して講義する。分析化学の領域が広いことを考慮し、単なる技術情報としてではなく、分析化学の体系を重視して述べる。
分析化学特論演習 (00L0043) 森 義仁	I・II 後 2単位	分析化学に関する最近の国内外の文献を講読する。やや研究課題に近い分野の原著論文などを適宜選択して、演習する。
レーザー分光学特論 (00L0045) 中野 晴之 橋本 健朗	I・II 集中 2単位	
統計力学特論 (00L0048) 柴田 文明	I・II 後 2単位	非平衡統計力学を、基礎から応用にいたるまで系統的に論ずる。理論的な方法論として、確率過程論、線形応答理論、減衰理論、経路積分法を述べ、具体的な例として、幾つかの緩和現象と非平衡量子系としてのレーザー作用を取り上げる。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
量子物理学特論演習 (00L0050) 柴田 文明	I・II 前 2単位	量子物理学特論の授業内容のうち、特に重要、あるいは興味のあるテーマに関し、論文講読及び討議を行う。ことに、基礎的量子現象、量子光学、量子通信理論などの基本文献を重視する。
場の理論特論 (00L0052) 菅本 晶夫	I・II 前 2単位	ゲージ場の理論を最近の発展に従って解説する。ゲージ場の量子化の後、ファインマン則を用いてくりこみを解説し、各種の素粒子反応へ応用する。
場の理論特論演習 (00L0053) 菅本 晶夫	I・II 後 2単位	場の理論特論で学んだことを各種の素粒子反応に適用して計算技術を習得させる。主に、電子陽電子散乱断面積の計算および量子色力学・繰り込み群の計算を行う。
極限物性学特論 (00L0054) 浜谷 望	I・II 前 2単位	超高压力さらに高温あるいは低温の極端条件下におかれた物質の物理的・化学的性質の研究方法を述べ、過去の主要な発見を解説する。さらに最近のトピックスについて原著論文をもとにして紹介する。
放射光科学特論演習 (00L0056) 浜谷 望 今井 正幸	I・II 後 2単位	物理、化学、工学などの広汎な分野における放射光を利用した最先端研究の文献を講読し、議論をとおして基礎から応用に及ぶ放射光の有用性を学習する。
天体物理学特論 (00L0058) 森川 雅博	I・II 前集中 2単位	宇宙でしか存在しない極限状態であるブラックホールの物理・初期宇宙の曲がった時空の量子論を、場の理論や非平衡統計力学の手法で解明していく。
天体物理学特論演習 (00L0059) 森川 雅博	I・II 後 2単位	講義で習得した知識や技法を応用して、最新の宇宙の観測データを理論と比較しながら解析したり、初期宇宙の相転移に伴う様々な問題を、物性論・素粒子論と結び付けて解明していく。
非線形物理学特論 (00L0061) 出口 哲生	I・II 前集中 2単位	自然界に見られる様々な非線形現象を理解するための物理学の理論を紹介する。今年度は、高分子の統計力学を解説する。高分子の絡み合い効果に対するいくつかの理論を議論し、結び目理論の応用に関しても言及する。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
非線形物理学特論演習 (00L0062) 出口哲生	I・II 後 2単位	非線形物理学分野に関する原著論文や原書を中心に討議演習を積み重ね、その分野の研究成果を学習し体験する。
物性物理学特論 (00L0064) 小林功佳	I・II 前 2単位	物性物理学の最近の話題を解説する。主に、原子スケール・ナノスケールのマイクロなスケールからやや大きなスケールのメソコピック系に特徴的な物性について論じる。
物性物理学特論演習 (00L0065) 小林功佳	I・II 後 2単位	物性物理学特論の講義を踏まえて、それに関連した最近の具体的な問題に取り組むために、本・学術雑誌等の文献の輪講・討論を行い、研究課題を解決するための能力を養う。
超弦理論特論 (00L0068) 海部宣男 萩原薫	I・II 後集中 2単位	超弦理論は、全ての相互作用に関する統一理論として注目されている。 その理論の最近の進展を分かりやすく解説すると共に、高エネルギー実験との比較ならびに宇宙の観測への応用を試みる。
現象論的素粒子論 (00L0070) 曹基哲	I・II 後 2単位	実験と直接対比しながら素粒子現象を理解する。特に電子・陽電子散乱実験に関する現象論的講義である。
核物性特論 (00L0072) 外館良衛	I・II 後集中 2単位	固体中のマイクロなダイナミクス（特に磁性体のスピンダイナミクス）を観測するために用いられる中性子、 μ 粒子、メスバウア核種などのマイクロなプローブを用いた測定の方法、特徴を概説し、最近の実験的研究を紹介する。
特別研究 (00L0074) (物質科学専攻教官)	I・II 通 14単位	

数理・情報科学専攻

数理・情報科学専攻

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
計算物理学特論 (00M0002) 佐藤浩史	I・II 後 2単位	自然現象の解明に必要な物理モデル、計算モデルの作成、数値シミュレーション及びその結果の可視化の手法について研究教育する。
計算物理学特論演習 (00M0003) 佐藤浩史	I・II 後 2単位	具体的な物理学における問題を与え、コンピューターを用いて解を求めることにより、物理学の理解を深める。
数値流体力学特論 (00M0005) 河村哲也	I・II 後 2単位	流体力学の問題をコンピューターを用いて取り扱う数値流体力学について、1. 常微分方程式の数値解法、2. 線形偏微分方程式の差分解法、3. 格子生成法、4. 非圧縮性流れの解析、5. 圧縮性流れの解析の順に講義する。 参考書：河村哲也著「流体解析 I」朝倉書店
数値流体力学特論演習 (00M0006) 河村哲也	I・II 後 2単位	「数値流体力学特論」の内容の演習を実際プログラミングを含めて行なう。
計算機言語特論 (00M0007) 佐藤一郎	I・II 前 2単位	プログラミング言語の背景にある概念及びその歴史的な背景に溯りながら、計算モデルやプログラミング言語とはなにか、そして、今後のプログラミング言語の発展を展望する。
データベースシステム特論 (00M0010) 増永良文	I・II 前 2単位	先進データベース応用をサポートできるオブジェクト指向データベースシステムやマルチメディアデータベースシステムについて、それらの理論と実際を論じる。 参考書：増永良文監訳「オブジェクト指向アプローチ-その全貌-」(星雲社)
ビジュアルコンピューティング特論 (00M0012) 藤代一成	I・II 前 2単位	現在のビジュアルコンピューティング研究開発に特に大きな影響力を与えている文献をピックアップし、輪講する。

※印科目の履修は、講義内容欄の◎を付した科目を修得しておくことが望ましい。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
※ビジュアルコンピューティング特論 演習 (00M0013) 藤代一成	I・II 後 2単位	現在のビジュアルコンピューティング研究開発に特に大きな影響力を与えている文献をピックアップし、記述されている技法を試験的に実装し、異なる問題に適用し評価する。 (備考) ビジュアルコンピューティング特論
コンピュータアーキテクチャ特論 (00M0015) 清木康	I・II 後 2単位	並列処理および分散処理を実現する計算機システムのアーキテクチャおよびソフトウェア構成法について述べる。特に、並列、分散型データベース・システム、分散型オペレーティング・システム・マルチメディアシステムを構成するためのソフトウェアの設計方法をシステム・アーキテクチャおよびソフトウェア・アーキテクチャの観点から解説する。
科学情報システム特論 (00M0016) 粕川正充	I・II 前 2単位	その時の新しい話題に応じて、洋書を一冊選択してゼミ形式で輪講を行なう。主としてユーザインタフェース、オペレーティングシステム、システム設計などの分野から本を選択する。
科学情報システム特論演習 (00M0017) 粕川正充	I・II 前 2単位	科学情報システム特論の演習
データベースマシン特論 (00M0018) 市川哲彦	I・II 後 2単位	データベース問合せの高速処理について論じる。問合せ処理の基本性能は、同時実行におけるスループットと、個別問合せの処理速度によって通常計測される。ここでは、前者については同時実行制御機構を、後者については問合せ最適化処理と索引構造について解説する。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
計算理論特論 (00M0019) 市川哲彦	I・II 前 2単位	プログラムはなんらかのパラダイムに従って記述されている。それはプログラムそのものの正当性を考察する基礎であると同時に、最適化アルゴリズム等の、“プログラムを取り扱うプログラム”の基礎でもある。本講義では主にデータベースシステムの間合せ言語において使われる計算パラダイムを中心に、それらの記述能力、相互の関係、応用システム、処理アルゴリズムについて解説する。
CADシステム特論 (00M0023) 西原清一	I・II 後 2単位	人工物や人工空間の知的設計のための方法論について学ぶ。空間には物理的・仮想的・感性的さらに状態遷移的な種々の側面がある。これらを組合せ探索、知識処理、制約充足パラダイム、複雑系などの概念に基づいて考察する。図面理解、仮想都市生成を題材とする。
環境数理特論 (00M0024) 細矢治夫	I・II 前 2単位	原子・分子から生命体を取りまく自然環境、人間を取りまくあらゆる人文・社会環境に内在する環境情報の実体を情報科学的に把握し、その処理過程につき記述する。
確率解析特論 (00M0027) 楠岡成雄	I・II 前 2単位	確率微分方程式の理論とその応用について講義する。とくにファイナンス理論への入門に重点をおく。
応用数学特論 (00M0031) 竹尾富貴子	I・II 後 2単位	バナッハ空間上のCo半群の性質を、生成作用素の性質、半群のスペクトル理論などから論じ、発展方程式との関係、カオス状態との関係などについて話す。
応用数学特論演習 (00M0032) 竹尾富貴子	I・II 後 2単位	応用数学特論の演習
離散数学特論 (00M0033) 金子晃	I・II 前 2単位	今年度は符号理論と暗号理論に関するやや高級な話題を扱う。有限体の理論の解説から初め、その上の代数幾何、グレーブナー基底の話などをした後、代数幾何符号や楕円曲線暗号への応用を講義する。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
情報構造特論 (00M0037) 吉田裕亮	I・II 前 2単位	情報の中に潜在する有限離散的な構造を確率論的に推測する手法においては、確率論的なモデルを考えるのは重要である。本講義では抽象確率空間を函数解析的な側面から拡張した作用素のなす代数を考え、その構造解析を部分代数の構造を基に行なう手法を扱う。この場合、部分代数に関する条件付き期待値など函数解析学的な処理が重要となる。このため函数解析の理論も本講義には含まれる。
情報構造特論演習 (00M0038) 吉田裕亮	I・II 前 2単位	本演習では、作用素代数において、その構造解析を部分代数の構造を基に行なう手法についての演習を行なう。部分代数の増大列に関する条件付き期待値などを函数解析学の理論を用いて具体的に書き下し、これら条件付き期待値に対応する射影作用素の列を調べることにより、有限グラフによる部分代数の不変量を得ることが可能である。この演習を行なうことにより作用素代数理論への理解を深める。
数理情報学特論 (00M0040) 浅本紀子	I・II 後 2単位	広範囲の事象から抽出された数理情報のふるまいを記述する方程式の解を解析する基礎理論を取り上げ、これを計算機を用いた処理を中心として論ずる。
数理情報学特論演習 (00M0041) 浅本紀子	I・II 後 2単位	数理情報学特論で取り上げた具体例に対して、それを計算機で処理する方法について、数式処理ソフトを使用した演習を行う。
離散力学系特論 (00M0042) 西沢清子	I・II 前 2単位	複素関数論の整備と共に、19世紀の数学の華とされた楕円関数論をテーマとする。今日なお楕円関数論が命脈を保って研究されるのは、整数論・代数幾何学・力学系理論など時代の要請で発展する理論に常に本質的なかわりを持っているためである。
幾何構造特論 (00M0043) 塚田和美	I・II 前 2単位	ユークリッド空間のリーマン部分多様体の基礎理論を解説した後、トピックとして等径部分多様体を取り上げる。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
調和解析特論 (00M0047) 渡辺ヒサ子	I・II 前 2単位	n次元ユークリッド空間上の実解析でよく使われる、極大関数、特異積分、ハウスドルフ測度、容量等について述べ、ポテンシャル論や境界値問題を解くために応用する。
調和解析特論演習 (00M0048) 渡辺ヒサ子	I・II 前 2単位	極大関数、特異積分、ハウスドルフ測度、容量などに関する基本的な定理の理解を深め応用力をつけるための演習を行う。
整数論特論 (00M0050) 藤原正彦	I・II 前 2単位	楕円曲線論の基礎について講述する。Mordell-Weilの定理、Lutz-Nagellの定理、rankの求め方、合同数などについて解説する。
整数論特論演習 (00M0051) 藤原正彦	I・II 前 2単位	整数論特論の演習
漸近解析特論 (00M0052) 真島秀行	I・II 前 2単位	自然数nの階乗の近似公式として知られるスターリングの公式や余剰虹のエアリー及びストークスによる解析をはじめとして、多くに関数方程式の解の近似的挙動を明らかにする手法として知られる漸近解析について、基本的な部分からいくつかの応用までを論ずる。
関数方程式特論 (00M0053) 武部尚志	I・II 前 2単位	非線形偏微分方程式を代数解析的に取り扱ういわゆる佐藤理論と戸田格子系を例にとって概説する。
関数方程式特論演習 (00M0054) 真島秀行	I・II 前 2単位	関数方程式についての基本的な例を扱ったり、基本的な定理の応用に関わる演習を行う。
等質空間特論演習 (00M0057) 塚田和美	I・II 後 2単位	等質リーマン多様体の研究に関し、具体例の計算や関連する論文を読むことにより、理解を深める。

※印科目の履修は、講義内容欄の◎を附した科目を修得しておくことが望ましい。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
無限次元測度特論 (00M0059) 前田 ミチエ	I・II 後 2単位	ヒルベルト空間、バナッハ空間上の測度論について述べる。
無限次元測度特論演習 (00M0060) 前田 ミチエ	I・II 後 2単位	ヒルベルト空間、バナッハ空間上の測度論について具体的な例題を議論する。
代数構造特論 (00M0062) 山田 裕史	I・II 後 2単位	シュア函数の入門的雑談を試みます。シュア函数とは一般線型群の有限次元既約表現の指標としての対称函数のことですが、数学の様々な場面に顔を出します。この魅力的な函数についてほんの一端でもお話しできれば、と思っております。
大域幾何学特論演習 (00M0066) 中居 功	I・II 前 2単位	大域幾何学の演習
※複素力学系特論 (00M0067) 松崎 克彦	I・II 前 2単位	昨年度の複素解析学特論に引き続き、複素力学系理論の中で、リーマン球面上の一次分数変換のなすクライン群について講義する。特に、群作用の軌道の集積点集合である極限集合のハウスドルフ次元に関する話題を中心にして述べる。 (備考) ◎複素解析学特論
複素解析学特論演習 (00M0069) 松崎 克彦	I・II 後 2単位	複素解析学関連の論文を読む上で必要となってくる基礎的な諸定理およびその応用の修得を目的にした演習を行なう。
複素多様体特論 (00M0070) 横川 光司	I・II 前 2単位	ケーラー多様体についての入門的な講義を行なう予定である。
代数幾何学特論演習 (00M0072) 横川 光司	I・II 後 2単位	代数多様体上の層のコホモロジーの計算を中心とした演習。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
特別演習 (00M0073) (数理・情報科学専攻教官)	I・II 前 4単位	各研究室で、それぞれ特定の題目について論文、単行本などを読み調べ報告し、教官と議論を行いながら理解を深めるとともに、数理・情報科学における研究の方法を修得する。
特別研究 (00M0074) (数理・情報科学専攻教官)	I・II 通 12単位	教官の指導の下に、各人のテーマの修士論文の作成を目標とした研究を行う。

担当教官名簿

学 長 佐藤 保
人間文化研究科長(併)教授 徳丸 吉彦

言語文化専攻

日本語文化学コース

教 授 鈴木 泰生
教 授 市古 夏生
教 授 平野 由紀子
教 授 岩崎 千鶴
助 教 菅 聡子
助 教 大塚 常樹
助 教 古田 啓

アジア言語文化学コース

教 授 相原 茂
教 授 宮尾 正樹
助 教 伊藤 美重子
助 教 和田 英信

英語圏・欧州言語文化学コース

教 授 石川 宏子
教 授 中村 弓子
教 授 石丸 昭二
教 授 西尾 道子
教 授 宮川 幸久
教 授 海老根 静江
教 授 内田 正子
教 授 中村 俊直
助 教 中村 真弓
助 教 菅野 健子
助 教 牛江 ゆき子
助 教 竹村 和子
助 教 松崎 毅郎
助 教 清水 徹郎

助 教 教授 ダイアン・ホーリー・ナガトモ

日本語教育コース

教 授 三木 紀人
教 授 長友 和彦
助 教 岡崎 眸
助 教 村松 賢一
助 教 佐々木 泰子

人文学専攻

思想文化学コース

教 授 土屋 賢二
教 授 羽入 佐和子
教 授 高島 元洋
助 教 高三 浦謙
助 教 佐藤 光子

歴史文化学コース

教 授 窪添 慶文
教 授 山本 秀行
教 授 大口 勇次郎
教 授 安田 次郎
教 授 小風 秀雅
教 授 秋山 光文
教 授 三浦 徹
助 教 新井 由紀夫
助 教 天野 知香
助 教 安成 英樹
助 教 古瀬 奈津子

服飾文化学コース

教 授 小池 三枝

教授 板倉壽郎
 助教授 徳井淑子
 助教授 吉村佳子
 舞踊・表現行動学コース
 教授 石黒節子
 教授 片岡康子
 助教授 本田郁子
 助教授 杉山進二
 講師 新名謙二
 講師 水村真由美
 音楽表現学コース
 教授 遠藤秀一郎
 教授 徳丸吉彦子
 教授 林原恵三子
 助教授 永薦田治子

発達社会科学専攻

発達人間科学系

教育科学コース

教授 上野浩道
 教授 上宮原修
 教授 鷹野光明彦
 教授 耳塚寛明
 助教授 米田俊彦
 助教授 三輪建二

心理学コース

教授 内藤俊史
 教授 内田伸子
 教授 石口彰章
 助教授 坂元

発達臨床心理学コース

教授 無藤隆子
 教授 黒田淑子
 教授 榎木満生
 助教授 伊藤美奈子

助教授 青木紀久代
 講師 伊藤亜矢子

応用社会学コース

教授 天野正子
 教授 平岡公一
 助教授 坂本佳鶴恵

社会臨床論コース

教授 箕浦康子
 助教授 酒井朗美
 助教授 田代和

生活・開発科学系

生活政策学コース

教授 袖井孝子
 教授 牧野カツコ
 教授 戒能民江
 助教授 犬塚伝也
 助教授 杉田孝夫
 助教授 御船美智子
 助教授 小谷真男

地理環境学コース

教授 田宮兵衛
 教授 内藤博夫
 助教授 栗原尚子
 助教授 杉谷隆賢
 助教授 内田忠賢
 助教授 水野勲

開発・ジェンダー論コース

教授 波平恵美子
 教授 波館かおる
 教授 石塚道子
 教授 石伊藤るり
 助教授 伊熊谷圭知子
 助教授 永瀬伸子

ライフサイエンス専攻

生活科学系

食品科学コース

教授 本間清一
 教授 畑江敬子
 教授 久保田紀久枝
 助教授 村田容常
 助教授 富永典子
 助教授 香西みどり
 助教授 森光康次郎

栄養科学コース

教授 倉田忠男
 教授 近藤和雄
 助教授 藤原葉子

人間生活工学コース

教授 田中辰明
 教授 長谷部ヤエ
 教授 會川義寛

環境生活工学コース

教授 小川昭二郎
 教授 駒城素子
 助教授 仲西正寛
 助教授 大瀧雅寛

生物人間科学コース

教授 富田守三
 教授 永川祐三治
 助教授 松浦秀美子
 助教授 鈴木恵美子
 講師 柴坂寿子

生命科学系

分子生物学コース

教授 松本勲 武坦
 教授 芦原きみ子
 教授 室伏悦子
 教授 松浦悦子
 助教授 小川温子

助教授 林正男
 助教授 小林哲幸
 助教授 相川京子

生命体科学コース

教授 石和貞男
 教授 馬場昭次
 教授 山下貴司
 教授 根本心一
 教授 最上善直
 教授 山本直樹
 助教授 千水美砂子
 助教授 野田正明
 講師 清本正人

物質科学専攻

相関物質科学コース

教授 富永靖徳
 教授 藤枝修子
 教授 益田祐一
 助教授 今井正幸
 助教授 川野はづき

分子科学コース

教授 平野恒夫
 教授 福田豊肇
 教授 永野美智子
 教授 今野佳也子
 助教授 堀野景子
 助教授 鷹野眞二
 助教授 山田義仁
 助教授 森武次 徹也

物理科学コース

教授 柴田明文
 教授 菅本晶夫
 教授 浜谷望

博 生 佳 衛 哲
 雅 哲 功 良 基
 川 口 林 館
 森 出 小 外 曹
 授 授 師 師
 教 教 師 師
 助 助 講 講

数理・情報科学専攻

情報科学コース

史 也 成 文 充 彦 郎
 浩 哲 一 良 正 哲 一
 藤 村 代 永 川 川 藤
 佐 河 藤 増 粕 市 佐
 授 授 授 授 授
 教 教 教 助 助
 教 教 教 助 助

応用数理コース

夫 二 子 晃 亮 子
 治 勇 富 貴 裕 紀
 矢 原 尾 子 田 本
 細 笠 竹 金 吉 浅
 授 授 授 授 授
 教 教 教 助 助
 教 教 教 助 助

数学コース

子 彦 行 美 子 功 彦 司 志
 ヒ 正 秀 和 ミ チ 陽 克 光 尚
 辺 原 島 田 田 本 居 崎 川 部
 渡 藤 真 塚 前 榎 中 松 横 武
 授 授 授 授 授 授 授 授
 教 教 教 教 教 助 助 助
 教 教 教 教 教 助 助 助

人間文化研究科 (博士後期課程)

子 敦 藤 伊 手 助

善 洋 一 あ 陽 百 合 友 賢 陽 由 晴 千 雅 玲
 姫 子 川 の 子 乃 秀 潔 子 里 子 明 子 紅 子
 原 藤 川 川 瀬 賢 陽 由 晴 千 雅 玲
 朴 松 周 佐 西 石 早 洪 胡 関 竹 榎 小 吉 于 石
 手 手 手 手 手 手 手 手 手 手 手 手 手
 助 助 助 助 助 助 助 助 助 助 助 助

